公益財団法人 忍郷友会広報誌　平成29年1月1日発行　No.73

松平忠寿翁書

忍郷友会

公益財団法人　忍　郷　友　会　とは・・・

創　立

明治四年（一八七一年）の廃藩置県で東京を初め、全国に散った旧忍藩士の人たち八十余名が、明治三十八年（一九〇五年）十月二十二日東京向島百花園に集まり、親睦会として発会式が行われたのが本会の始まりで、同年十二月六日には藩主嗣子松平忠壽少尉の日露戦争凱旋祝賀会が盛大に開催されて本会の基礎が出来、会報第一号が刊行されました。

その後地方在住の士族の他、忍郷にゆかりの一般の人たちも加わり、交流を深め会員相互の親睦、個人の知徳の涵養を目指しながら、ふるさとの為最初は東京に遊学する忍町の学生を援助するなど、後継者の育成と郷土の文化発展にも意を尽くして年月を重ねてきました。

（一般財団法人から公益財団法人へ）財団法人の認可

昭和十年の創立三十周年大会以後は、それまでの幹事制から会長制に替わり、林頼三郎中央大学総長を会長に、松平忠壽貴族院議員を名誉会長に選び、その後昭和十三年に文部省（現文部科学省）より「教育活動を行なう財団法人」として認可され、平成二十六年三月三十一日まで継続してまいりました。

平成二十六年四月一日には、制度改革による法改正に伴い一般財団法人からより社会的信頼・信用が高い公益財団法人への移行を申請、内閣府より厳格な審査の結果公益財団法人として認可されました。

全国的に見ても郷友会はいくつかありますが、法人格を有しているのは本会だけです。現在の会長は、（奥平）松平家十六代の松平忠昌氏です。

会　員

本会は明治、大正、昭和の大きな歴史的試練にもめげずに活動は続けられ、会員の延べ数は数千人を超えており、その方々の分野も政界、官界、軍部（戦前）、法曹界、経済界、教育界、学会、美術芸能その他多岐に亘っています。平成二十七年は創立一一〇周年、忍郷人として誇り高く生きてきた郷土を愛する人々の集まりであります。どこにいても、いつも行田のことが忘れられない人々の集まり、それが忍郷友会です。現在の会員数は二百三十余名です。

目的と事業

本会の創立者の遺志を継承し、行田地方を中心に東京、神奈川など県内外の会員と関係者の支援を仰ぎながら、会員同士の親睦、知徳の涵養と人格の向上を図りつつ、これからの地域社会や国家の繁栄隆昌に役立つリーダーや後継者の人つくりを目指し、社会教育と学校教育の支援事業を行っていきます。本会の目指す究極の人間像は「確かな知識とともに高い倫理観と品性を備えた人」であります。

（文責　渡邉　栄一）

公益財団法人
忍郷友会広報誌　第七十三号

目次

二〇一七年に向けて……松平　忠昌……2
平成28年度　定時総会報告……矢澤　大和……3
忍び藩教えに学ぶ……山岸　泰輔……5
平成27年度　事業報告……6
収支決算書・貸借対照表……9
忍郷友会役員名簿……10
平成28年度　会員名簿……11
平成28年度　事業行事経過メモ……12
第31回　浮き城のまち行田
「少年の主張大会」……瀬山　文孝……14
忍郷友会会長賞作品①……野辺たま希……14
忍郷友会会長賞作品②……越　もえ香……15
忍郷友会会長賞作品③……久保田千裕……16
読書推進運動について……大野　年司……17
進脩塾活動について……田代　敬二……18
郷土の歴史講座……遠藤　初枝……20
第十四回全国藩校サミット丸亀大会に参加して
……坂田　敬子……21
藩校サミット丸亀大会に行ってきました
……鈴木　秀憲……22
川柳・俳句……27
御名刺掲載欄……28
編集後記……黒渕　陽夫……31

二〇一七年に向けて

公益財団法人　忍郷友会
会長　松平忠昌

明治三十八年十月に創立・発足し、平成二十六年四月に公益財団法人として認可されました忍郷友会は、一一〇年を超える歴史を有する公益財団として日本全国でも稀有な存在と云えます。

当会の歴史と伝統は、云うまでもなく、先輩諸氏を始めとする会員皆様の確固たる郷土愛と献身的な奉仕の精神に基づく活動の賜物であり、お陰様で我々が出来る事業を積極的に継続出来ております。

公益事業の柱として積極的に推進・活動している「進脩塾事業」は、昨年「公開講座」が節目の二〇〇回を超えており、本年も「市民公開講座」の開催を始めとした活動に注力して参ります。

第三十二回となる「浮城のまち行田少年の主張大会」も行政への後援を認められてから二十年を超える取り組みとなっており、青少年の声・発表を直に聞く事が出来る良い機会となっております。会員各位におかれても、当該事業をご理解頂き会場に足を運んで頂くなど積極的にご参加願いたく存じます。

勿論、継続事業であります「読書推進」についても内容を充実する事を念頭に活動して参ります。

機会のある度に申し上げております通り、当会の活動の中心は、国や地域行田の宝である青少年の教育を支援し、人材育成を目指した地道な教育支援活動であり、これからも上述の事業活動を継続する事は当然でありますが、心の柱となる教育に目を向け、心の拠り所となる郷友会とするように努力して参る所存です。

平成十九年に移転した事務局は、鈴木秀憲副会長と矢澤事務局長を中心に新たな体制で運営を図っておりますので、会員の皆様にもご理解と暖かいご支援・ご協力をお願い致します。公益と並行して、本年は会員相互の交流や親睦の機会や活動の場を増やせる様に工夫して参りたく考えておりますので、忌憚のないご意見・ご提案をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、本年は公益財団法人移行後三年を超える事となり、内閣府による検査が実施される見込みですので、気を引き締めて運営・管理に当って参ります。

一方、国内では、安倍晋三新首相の政治体制の下に、諸政策が推進されている訳ですが、必ずしも明るい材料があるとは申せず、もどかしさを覚えますが、強いて言えば二〇二〇年開催の東京オリンピックに向けての諸活動に期待が持てると考えられます。

他方、海外に目を向けてみますと、米国では新大統領の誕生、英国のEU離脱の動き、中国の軍事・経済での突出や北朝鮮問題、等々と日本を取り巻く環境は厳しいものとなりますが、この様な時であるからこそ足元を見詰めながら自らの出来る事を着実に手掛けて行くべきと考えます。

「違いの判る人間を育成する教育への支援」によって、行田から日本、世界の将来を担う人々を輩出できる様に「一燈照隅」の想いで事業を推進・継続して参りますので、皆様のご理解・ご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成二十八年度 定時総会報告

事務局長　矢澤大和

この総会は、私が事務局長としてご承認を頂いて丁度一年目の総会です。何も解らず、何も知らずの私が事務局長を拝命してしまい「薄氷を履むが如し」の一年でした。

この間、松平忠昌会長、鈴木秀憲副会長、渡邉栄一前副会長、小山博前事務局等には、大所高所からご指導、薫陶をいただき感謝いたして居ります。また、新任ではありますは、増田事務局員には、休日出勤はじめ、多くの無理を聞いて頂きました。お礼を申し上げます。

理事会

平成二十八年度定時総会は、平成二十八年五月二十五日水曜日に開催されましたが、その開催に向けた理事・監事会を平成二十八年四月二十日㈬十四時三〇分から本会本部事務所にて開催いたしました。

理事十三名中、十二名の出席を、また監事三名全員の出席をいただき、理事・監事会は定刻に開会されました。

定款に基づき松平忠昌会長が議長に就任し、議事録署名人に小山博理事、新井啓介理事の二名を指名し、両理事はこれを受諾いたしました。

○第一号議案
平成二十七年度公益財団法人忍郷友会事業報告書（案）について

○第二号議案
平成二十七年度公益財団法人忍郷友会収支決算書（案）について

○第三号議案
定時総会・講演会・懇親会ご案内（案）について

○第四号議案
役員会・総会・講演会・懇親会、タイムテーブル（案）について

○第五号議案
定時総会・講演会・懇親会、ご招待者リスト（案）について

○第六号議案
公益財団法人忍郷友会の慶弔に関する内規（案）について

○第七号議案
新入会員承認の件

入会申請者六名の内、二名については、定款の規定により入会を認めない。四名の適格者については、承認

以上、第一号議案、第二号議案は関連があるため、一括審議提案が議長よりなされ、理事全員がこれを承認。第一号・第二号議案のそれぞれ担当より説明があり、その後、会計及び業務監査につき監事より監査報告をいただき、採決の結果これを承認。第三号議案以降各審議事項とも出席理事全員をもって承認可決されました。

評議員会

平成二十八年五月二十五日㈬一四時よりベルヴィアイトピア二階「かとれあ」において公益財団法人忍郷友会評議員会が開催されました。

開会に先立ち事務局長より出席評議員二七名、欠席評議員は四名、定款第二十二条一項を満たしており本評議員会は成立している旨の報告がありました。

定款二十一条の定めにより評議員会招集者の松平忠昌会長が仮議長となり開会し、議長の選出について諮ったところ、福島伸悦評議員を議長として選出する旨の議決があり、福島評議員はこれを受諾し、福島議長により議案審議に入りました。

議事に先立ち、議長より遠藤初枝評議員、奥田七寿評議員の二名を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾しました。

審議事項

審議に先立ち議長より、第一号議案と第二号議案は関連があるため、一括審議の提案があり、全評議員は、これに賛成をしました。

○第一号議案　平成二十七年度公益財団法人忍郷友会事業報告についてそれぞれ担当より説明がありました

○第二号議案　平成二十七年度収支決算書についてそれぞれ担当より説明された。

続いて業務監査、会計監査について監事を代表し、岩崎安裕監事より業務、会計処理が適法、且つ適正に処理されている旨の報告がされた。

後、議長より第一号議案、第二号議案の承認について諮ったところ、全員の賛成を持って承認可決されました

○その他報告事項

矢澤事務局長より先の理事会で承認された、公益財団法人忍郷友会慶弔に関する規定等の報告があった。

以上で、公益財団法人忍郷友会評議員会は、十四時四十五分、滞りなく閉会をしました。

第一一一回　定時総会

同日十五時から、同三階「ガレリア」において定時総会、講演会が催されました。

山本憲作理事が司会。

まず、物故会員、川鍋重壽会員のご冥福を祈り、黙とうを捧げました。

続いて、松平忠昌会長が議長に就き、矢澤大和事務局長より平成二十七年度本会事業報告、収支決算書などの会務報告がありました。

定時総会参加者は、五十五名。

ご来賓として

行田市長代理・川島将史様
行田市議会議長・平社輝男様
埼玉県議会議員・鈴木聖二様令夫人
行田商工会議所会頭・小川雅以様
行田商工会議所名誉会頭・鈴木秀憲様
行田商工会議所副会頭・細井保雄様
ものつくり大学学長・赤松　明様
行田ロータリークラブ会長　小澤瑛様
行田さくらロータリークラブ会長　阿部秀二郎様
行田ライオンズクラブ会長　岡田安秀様
（公社）行田青年会議所理事長　山岸泰輔様
㈱埼玉新聞社代表取締役・小川秀樹様
埼玉浮き城プロバスクラブ会長　須郷隆様
白河藩主阿部家二十二代当主　阿部正靖様

特別会員・小池ミチ子様

講演会講師・世川祐多様

ご来賓を代表して、行田市長代理・川島将史様、行田商工会議所会頭・小川雅以様からお祝詞をいただき、定時総会を終了いたしました。

定時総会に続き、鈴木秀憲副会長の講師紹介で、本会会員の世川祐多氏に「パリの現状から考える忍郷友会の存在意義」と題し、記念講演を戴きました。

この講演に対し、ご来賓の（公社）行田青年会議所　山岸泰輔理事長のブログに、素晴らしい感想が掲載してありましたので、氏のご了解をいただき以下に掲載いたします。

5IS
ファイブイズホーム
株式会社ファイブイズホーム
代表取締役社長
細井　保雄

講演終了後、松平忠昌会長より謝辞があり、閉会となりました。

同日十七時三〇分より、同三階バールにて瀬山文孝評議員の司会で、懇親会が開催されました。

鈴木秀憲副会長の挨拶に始まり、（公社）行田青年会議所　山岸泰輔理事長をはじめ、ご来賓からのご挨拶を頂戴し、白河藩阿部家二十二代ご当主阿部正靖様の乾杯で懇親会が始まりました。

各自、杯を交わしながらのご挨拶、名刺交換など和やかなうちに懇親会は進みました。

中締めの後、事務局長矢澤大和の閉会の辞で定期総会の総てが終了いたしました。

忍藩の教えに学ぶ

（二〇一六年五月二十五日）

（公社）行田青年会議所　理事長　山岸泰輔

公益財団法人忍郷友会の総会に出席させていただきました。

忍郷友会は一九〇五年に創立され、旧忍藩や行田市に縁故ある方たちの親睦を図りながら、人材育成や地域社会の発展に貢献する事を目的としている法人であります。

行田青年会議所の一九六二年に創立した際も、多くの協力と尽力を頂いたと諸先輩から聞かせていただき、私たち行田ＪＣとは大変近い存在でもあるように感じております。

総会後には、忍郷友会の会員でもある世川祐多さんによる「パリの現状から考える忍郷友会の存在意義」をテーマにした講演会も催されました。

世川さんは、フランスパリの移民やテロの現状に対して教育の必要性を問題提議として、江戸時代から続く日本の姿をヒントに、これからの未来をどのように展望していくかというお話を頂きました。

私自身も今現在考えている問題点や未来についてのビジョンについて、とても勉強になりました。

特に、先人たちから受け継いできた多くの知恵や工夫について、しっかりと守り次世代に引き継いでいくことの責任を改めて自覚する時間になったと思います。

今を生きる世代は、過去と未来を繋ぐために真剣に思考することがその存在意義であるとするならば、「我思う故に我あり」というデカルトの言葉のように、思考こそが各個人のアイデンティティの確立にも繋がっていくのだといえるのだと感じます。

また、江戸の時代における多種多様性、士農工商という違いはあれど、それぞれの得手不得手を尊重し合うという教えこそ、現代においてまさに必要とされる精神だといえるのではないでしょうか。

民法（家族法）・刑訴法最新改正織り込み！
ポケット六法
［編集代表］山下友信　山口　厚
収録法令202件　平成29年版　定価2000円（税込）

刑事訴訟法・民法（家族法）・行政個人情報保護法・消費者契約法等の重要改正に対応！
有斐閣 判例六法 Professional
［編集代表］山下友信　中田裕康　山口　厚　長谷部恭男
平成29年版　定価5832円（税込）

民法（家族法）・刑事訴訟法の改正に対応！
有斐閣 判例六法
［編集代表］中田裕康　長谷部恭男
平成29年版　定価2900円（税込）

代表取締役社長　江草貞治
株式会社 有斐閣
since1877
東京都千代田区神田神保町2-17
代表 03-3264-1312　FAX03-3264-5030

平成二十七年度 事業報告

1 会議

(1) 総会

① 定時総会開催

（会務報告、講演会、懇親会）

日　時　平成二十七年六月二十一日㈰
　　参加者　七十四名
　　午後三時三〇分～午後八時

会　場　行田市・ベルヴィアイトピア

来　賓
　行田市長代理　岸田　昌久　様
　行田市議会議長　平社　輝男　様
　衆議院議員　野中　厚　様
　行田市教育委員会　岸田　昌久　様
　行田商工会議所名誉会頭　鈴木　秀憲　様
　行田商工会議所会頭　小川　雅以　様
　行田商工会議所副会頭　細井　保雄　様
　行田商工会議所副会頭　大久保　毅　様
　行田ロータリークラブ会長代理　福島　伸悦　様
　行田さくらロータリークラブ会長代理　阿部秀二郎　様
　（公社）行田青年会議所理事長　櫛引　浩士　様
　㈱埼玉新聞社代表取締役　小川　秀樹　様
　作家（講演会講師）　鮫島　純子　様

松平忠昌議長より平成二十六年度の事業および決算、監査について報告があった

記念講演
「すべてに感謝」で
　毎日がしあわせ
　講師　鮫島　純子　様
　（渋澤栄一様直系）

懇親会

② 定時総会

（会務報告・賀正会）

日　時　平成二十八年一月二十三日㈯
　　参加者　四〇名
　　午後三時一〇分～午後七時

会　場　霞会館（霞が関ビル二十四階）

来　賓
　行田市市長代理（副市長）　川島　将史　様
　行田商工会議所会頭　小川　雅以　様
　行田商工会議所名誉会頭　鈴木　秀憲　様
　行田商工会議所副会頭　細井　保雄　様
　（公社）行田青年会議所副理事長　羽賀　烈　様
　（公社）行田青年会議所　野原　央行　様
　行田市立埼玉小学校校長　岡島　信行　様
　㈱埼玉新聞社代表取締役（講師）　小川　秀樹　様

松平忠昌会長より平成二十八年度の事業計画及び予算について報告があった

講　演
「埼玉における新聞の歴史と
　これからの役目について」
　講師　㈱埼玉新聞社代表取締役
　　小川　秀樹　様

少年の主張
　優秀作品の発表と紹介

(2) 役員会

① 理事・監事会

日　時　平成二十七年四月二十日㈪
　　午後三時三〇分～午後五時

会　場　公益財団法人忍郷友会本部
　　事務所

審議事項

1　平成二十六年度事業報告書の承認を求める件について
2　平成二十六年度収支決算書の承認を求める件について
3　理事、評議員、執行役員の退任に伴う選任の承認を求める件について
4　創立一一〇百十周年事業に賛同を求める件について
5　定時総会・講演会・懇親会ご案内（案）について
6　役員会・総会・講演会・懇親会　タイムテーブル（案）について
7　総会・講演会・懇親会ご招待者（案）について

以上慎重に審議され、承認された

② 理事・監事会

日　時　平成二十七年六月二十一日㈰
　　午後一時四十五分～午後二時十五分

会　場　ベルヴィアイトピア

審議事項

1　平成二十六年度収支決算書（案）の監査報告について
2　創立百十周年講演会開催場所の選定について

以上慎重に審議され、承認された

③ 臨時理事会

日　時　平成二十七年六月二十一日㈰
　　午後三時一〇分～午後三時二〇分

会　場　ベルヴィアイトピア
審議事項
1　理事、執行部役員の退任に伴う評議委員会における選任報告を受けて、会長の互選をおこなうことについて
以上慎重に審議され、承認された

④評議員会
日　時　平成二十七年六月二十一日(日)
午後二時二〇分～午後三時三十五分
会　場　ベルヴィアイトピア
審議事項
1　平成二十六年度事業報告書の承認を求める件について
2　平成二十六年度収支決算書の承認を求める件について
3　理事、評議員、執行役員の退任に伴う選任の承認を求める件について
4　創立百十周年事業に賛同を求める件について
5　定時総会・講演会・懇親会ご案内（案）について
6　役員会・総会・講演会・懇親会　タイムテーブル（案）について
7　総会・講演会・懇親会ご招待者（案）について
報告事項　臨時理事会での議決報告があった
以上慎重に審議され、承認された

⑤臨時理事会
日　時　平成二十七年八月四日(火)
午後四時～午後六時三〇分
会　場　公益財団法人忍郷友会本部事務所
審議事項
1　創立百十周年記念行事（案）について
以上慎重に審議され、承認された

⑥理事・監事会
日　時　平成二十七年十一月十六日(月)
午後一時三〇分～午後三時
会　場　公益財団法人忍郷友会本部事務所
審議事項
1　平成二十八年度事業計画（案）について
2　平成二十八年度予算（案）について
イ「進脩塾」事業計画・予算（案）について
ロ「浮き城のまち行田少年の主張大会」事業計画・予算（案）について
ハ「読書推進委員会」事業計画・予算（案）について
3　平成二十八年一月の定時総会・賀正会について
4　平成二十八年五月定時総会の日程について
平成二十八年五月二十五日(水)に開催予定
5　報告事項
以上慎重に審議され、承認された

⑦評議員会
日　時　平成二十七年十二月七日(月)
午後一時三〇分～午後三時まで
会　場　行田商工センター　四〇二号室
審議事項
1　平成二十八年度事業計画（案）について
2　平成二十八年度予算（案）について
イ「進脩塾」事業計画・予算（案）について
ロ「浮き城のまち行田少年の主張大会」事業計画・予算（案）について
ハ「読書推進委員会」事業計画・予算（案）について
3　平成二十八年一月の定時総会・賀正会について
4　平成二十八年五月定時総会の日程について
平成二十八年五月二十五日(水)に開催予定
5　報告事項
以上慎重に審議され、承認された

2　教育奨励事業

(1)　進脩塾活動

①公開講座
イ　「進脩塾創設二〇〇回記念特別講演会」及び忍藩子ども塾児童・市立埼玉小学校児童素読発表
日　時　平成二十七年五月十七日(日)
午後二時～午後五時二十五分
会　場　行田市商工センター
第一講「世界が認める美しい日本」
講　師　野中　厚　先生（衆議院議員）
第二講「進立志のススメ」
講　師　荒井　桂　先生（《公財》郷学研究所・安岡正篤記念館副理事長兼所長）
受講者　約二五〇名
素読発表児童　五十二名
ロ　「忍郷友会創立百十周年記念講演会」忍藩子ども塾児童・市立埼玉小学校児童素読発表
日　時　平成二十七年十一月七日(土)
会　場　行田教育文化センター「みらい」
素読発表児童　四十三名
ハ　市民公開講座
日　時　平成二十八年二月二十七日(土)
午後二時十五分～午後四時
会　場　商工センター四〇一号室
演　題　「修己の書『小学』を読む」
講　師　荒井　桂　先生（《公財》郷学研究所・安岡正篤記念館副理事長兼所長）

受講者　約一〇〇名

②**定例講座**

四　月「孟子」荒井　桂先生
五　月「孟子」荒井　桂先生
八　月「孟子」荒井　桂先生
九　月「孟子」荒井　桂先生
十　月「孟子」荒井　桂先生
三　月「孟子」荒井　桂先生
内　容　進脩塾の目的、講義、受講者の感想、今日の論語から
＊行田ケーブルテレビにて放映

③**忍藩子ども塾素読教室の開催**

日　時　毎月第一、第二、第三土曜日
午前九時～午前十二時
場　所　行田市郷土博物館講座室
受講者　行田市内在住の小学生
五〇名
講　師　田代敬二・奥田七寿・川田隆生
内　容　論語・漢詩の素読学習

④**東京支部素読教室開催**

日　時　毎月二回土曜日
午後二時三〇分～午後三時三〇分
場　所　天眼寺（東京・上野）
受講者　天眼寺関係者　一〇名
講　師　田代敬二・川田隆生
内　容　論語・漢詩の素読教室

⑤**漢文検定試験の実施**

日　時　平成二十七年十二月十九日㈯
午前九時三〇分～午前十二時
場　所　行田市郷土博物館講座室
受験者　三十三名（寺子屋の部
初級、中級、上級）

⑥**出前出張授業**

対　象　行田市立埼玉小学校全学年
日　時　毎週水曜日
午前八時一〇分～午前八時三〇分
講　師　田代敬二、奥田七寿
内　容　論語・漢詩の学習

(2)**「第三十回・浮城のまち行田少年の主張大会」優秀者表彰**

日　時　平成二十七年十一月十四日㈯
午後一時十五分～午後四時三〇分
場　所　行田教育文化センター「みらい」文化ホール
応募者　市内小・中学校児童生徒
五三名
発表者　二十九名　鈴木副会長より記念品を贈呈した

(3)**読書推進実行委員会**

①読み聞かせボランティアとの座談会開催
日　時　平成二十七年七月二十二日
午後一時三〇分～午後三時
場　所　行田商工センター四〇二号室
参加者　十五名

②第十三回読み聞かせボランティアスキルアップ講座
「読み聞かせ　絵本の選び方」
日　時　平成二十八年二月二十日㈯
午後一時三〇分～午後三時三〇分
場　所　忍・行田公民館ホール
講　師　杉山きく子先生
受講者　六十六名

3　会報72号の発行

会報七十二号を平成二十七年十二月一日に発行
全会員、市内各小、中、高校、幼稚園、保育園及び素読教室関係者に配布

4　慶　弔

①**叙勲・褒章受章**

村山　吉廣　様
平成二十八年十一月三日
瑞宝中綬章を受章
興　淳明　様
平成二十八年十一月三日
旭日小授章を受章
小川　雅以　様
埼玉県地方自治功労賞商工部門を受章

②**お悔やみ申し上げます**

川鍋　重寿　様
（平成二十八年二月十四日ご逝去）

5　会員増強対策

新入会者紹介（敬称略　入会順）

紹介者（松平　忠昌）
・国本　哲秀　様
東京都中央区晴海
㈱シナテック　代表取締役
紹介者（矢澤　大和）
・鈴木　淳一　様
行田市長野
㈱ジャパンココリサイクル
代表取締役
・新井　重人　様
東京都中央区勝どき
㈱ＡＫ商事　代表取締役
・川鍋　和史　様
行田市埼玉
行田市役所職員
紹介者（世川　祐多）
・世川　恒彦　様
川越市寺尾
元東京メトロ㈱　社員

6　総会員数

二一七名
（平成二十八年三月三十一日現在）

法人名：公益財団法人　忍郷友会　事業名：事業全体　自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日　決算

収支計算書

（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
①　基本財産運用収入			
基本財産配当金収入	100,000	112,540	12,540
②　会費収入			
正会員会費収入	1,950,000	2,235,000	285,000
③　事業収入			
総会事業収入	1,100,000	772,000	△ 328,000
進脩塾事業収入	840,000	890,200	50,200
藩校サミット事業収入	0	100,600	100,600
創立110周年記念事業収入	500,000	392,000	△ 108,000
④　寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0
⑤　雑収入	300,000	430,846	130,846
⑥　他会計からの繰入金収入			
積立基金取崩収入	0	0	0
事業活動収入計	5,790,000	5,933,186	143,186
2．事業活動支出			
①　事業費支出	3,900,000	4,404,642	504,642
進脩塾事業支出	970,000	1,148,495	178,495
少年の主張大会支援事業支出	330,000	356,713	26,713
読書推進支援事業支出	250,000	107,329	△ 142,671
藩校サミット事業支出	300,000	270,600	△ 29,400
広報発行事業支出	350,000	255,760	△ 94,240
その他の公益事業支出	100,000	0	△ 100,000
創立110周年記念事業支出	500,000	1,342,221	842,221
総会事業支出	1,100,000	923,524	△ 176,476
その他の収益事業支出	0	0	0
②　管理費支出	2,190,000	1,884,318	△ 305,682
事務職員給料支出	840,000	758,282	△ 81,718
事務所賃借料支出	360,000	360,000	0
会議費支出	220,000	27,568	△ 192,432
旅費交通費支出	20,000	9,000	△ 11,000
通信運搬費支出	300,000	339,169	39,169
消耗品費支出	100,000	99,419	△ 581
租税公課支出	0	0	0
慶弔費支出	50,000	29,200	△ 20,800
雑支出	300,000	261,680	△ 38,320
その他の管理費支出	0	0	0
事業活動支出計	6,090,000	6,288,960	198,960
事業活動収支差額	△ 300,000	△ 355,774	△ 55,774
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	50,000	0	△ 50,000
当期収支差額	△ 350,000	△ 355,774	△ 5,774
前期繰越収支差額	2,790,000	4,650,904	1,860,904
次期繰越収支差額	2,440,000	4,295,130	1,855,130

（注）予備費　使用せず

財産目録

（単位：円）

科　目		金　額
Ⅰ　資産の部		
1．流動資産		
現金預金		
現金手許有高		109,748
普通預金	埼玉りそな銀行 行田支店 4187540	1,547,347
	埼玉りそな銀行 行田支店 4085314	2,585,415
郵便貯金	(00120-2-48444)	143.120
流動資産合計		4,385,630
2．固定資産		
(1)　基本財産		
投資有価証券		7,132,450
基本財産合計		7,132,450
(2)　特定資産		0
(3)　その他固定資産		0
固定資産合計		7,132,450
資産合計		11,518,080
Ⅱ　負債の部		
1．　流動負債		0
未払金		75,500
預り金		15,000
流動負債合計		90,500
負産合計		90,500
正味財産		11,427,580

有価証券の内訳

内訳：　東京電力株式　1,983株　（内登録株　19株）
　　東京ガス株式　11,254株

支出の部の内訳書

（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差　異
事業費			
（進　脩　塾）	970,000	1,148,495	178,495
（少年の主張支援）	330,000	356,713	26,713
（読書推進支援）	250,000	107,329	△ 142,671
（藩校サミット支援）	300,000	270,600	△ 29,400
（広　報　発　行）	350,000	255,760	△ 94,240
（その他の公益事業）	100,000	0	△ 100,000
（創立110周年記念）	500,000	1,342,221	842,221
（総　会　費　用）	1,100,000	923,524	△ 176,476
小　計	3,900,000	4,404,642	504,642
管理費			
（事務職員給与）	840,000	758,282	△ 81,718
（事務所賃借費）	360,000	360,000	0
（会　議　費）	220,000	27,568	△ 192,432
（交　通　費）	20,000	9,000	△ 11,000
（通信運搬費）	300,000	339,169	39,169
（消　耗　品　費）	100,000	99,419	△ 581
（租　税　公　課）	0	0	0
（慶　弔　費）	50,000	29,200	△ 20,800
（雑　費）	300,000	261,680	△ 38,320
小　計	2.190,000	1,884,318	△ 305,682
積立基金取崩支出	0	0	0
予備費	50,000	0	△ 50,000
合　計	6,140,000	6,288,960	148,960

貸借対照表

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金			
現金	109,748	97,271	12,477
普通預金	4,132,762	4,553,633	△ 420,871
郵便貯金	143,120	0	143,120
流動資産合計	4,385,630	4,650,904	△ 265,274
2．固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	7,132,450	9,412,539	△ 2,280,089
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	7,132,450	9,412,539	△ 2,280,089
資産合計	11,518,080	14,063,443	△ 2,545,363
Ⅱ　負債の部			
未払金	75,500	0	△ 75,500
預り金	15,000	0	△ 15,000
負債合計	90,500	0	△ 90,500
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産	0	0	0
2．一般正味財産	11,427,580	14,063,443	△ 2,635,863
（うち基本財産への充当額）	(7,132,450)	(9,412,539)	
正味財産合計	11,427,580	14,063,443	△ 2,635,863
負債及び正味財産合計	11,518,080	14,063,443	△ 2,545,363

平成二十八年度（公財）忍郷友会役員名簿

理事

会長　松平　忠昌
副会長　鈴木　秀憲
事務局長　矢澤　大和
理事　新井　啓介
理事　碓井　勝也
理事　大野　年司
理事　小川　雅以
理事　黒渕　陽夫
理事　小山　博
理事　清水　龍男
理事　中川　邦明
理事　山本　憲作
理事　渡辺　栄一

監事

監事　岩崎　安裕
監事　加藤　力也
監事　保泉　欣嗣

名誉理事

名誉理事　江草　忠敬
名誉理事　清水　義夫
名誉理事　古市　實
名誉理事　宮川　公男

特別会員

特別会員　阿部　正靖
特別会員　田代　敬二

評議員

評議員　新井　誠
評議員　井上　啓子
評議員　五十幡和彦
評議員　永島　健雄
評議員　江利川　毅
評議員　遠藤　初枝
評議員　大久保　毅
評議員　大谷　純一
評議員　大澤　誠
評議員　大西　義道
評議員　奥田　七寿
評議員　川辺　秀夫
評議員　倉持成一郎
評議員　小菅　克祥
評議員　小池　俊輔
評議員　小林　晴夫
評議員　須郷　和美
評議員　瀬山　文孝
評議員　中島　捷二
評議員　橋本　恭一
評議員　長谷川雅敏
評議員　東　瑞芳
評議員　福島　伸悦
評議員　細井　保雄
評議員　松岡　由浩
評議員　諸貫　健一
評議員　八木原　保
評議員　山岸　泰輔
評議員　横川　福治
評議員　渡辺　久記

幹事

幹事長　中川　邦明
副幹事長　大澤　誠
副幹事長　渡邉　久記
幹事　新井　誠
幹事　五十幡和彦
幹事　川島　亨
幹事　瀬山　文孝
幹事　長島　豊
幹事　長谷川雅敏
幹事　松岡　由浩

（平成二十八年十二月一日現在）

社会福祉施設
教育・文化施設
オフィス・工場
店舗・商業施設
耐震補強
建物リニューアル

技術と環境の未来を見つめて
小川工業株式会社
埼玉県行田市桜町1-5-16　TEL.048-554-4111

平成二十八年度　会員名簿

法人会員

㈱リノン　新井　啓介
㈱シンセイ開発　新井　誠
㈲羽生モータースクール　五十幡和彦
医療法人　葦の会　石井　義則
㈱行田ガーデン　稲垣　功一
㈱碓井測研　碓井　勝也
㈱有斐閣　江草　忠敬
税理士法人大久保会計　大久保　毅
大野建設㈱　大野　年司
小川工業㈱　小川　雅以
公認会計士　奥貫　健一
㈲中央百貨店　川辺　秀夫
㈱ケイマス　黒渕　陽夫
ガクヤ㈱　小池　俊輔
東旭㈱　小菅　克祥
小山商事㈱　小山　博
㈱清水アーネット　清水　龍男
ベルヴィアイトピア　清水　利一
㈱協同バス　鈴木　秀憲
税理士法人森経理事務所　府川　吉延
㈱ファイブイズホーム　細井　保雄
㈱八木橋百貨店　八木橋宏貴
㈱ジム　八木原　保
㈾青美矢沢商店　矢澤　大和
㈱サンワックス　山田　晃
山本商事㈱　山本　憲作
山本食品工業㈱　山本　正幸
㈱ヨコカワ　横川　福治
㈱十万石ふくさや　横田　康介
渡辺㈱　渡邉　久記

正会員

青柳　憲助　赤松　明
阿部　哲也　阿部秀二郎
新井　教弘　新井　宏幸
安部　節子　飯島　千裕
井桁　浄継　石井　直彦
伊藤　和江　今井　福司
岩佐　博之　岩田　譲啓
江草とみ子　江原　史郎
及川　礼子　大河原梅夫
大嶋　康三　大谷　文孝
小川　秀樹　興　淳明
小澤光太郎　小澤　誠邦
折井　幸子　香川　宏行
柿沼　京子　柿沼　貴志
粕谷　悦昭　片桐　章雄
加藤　一夫　加藤　誠一
鹿山　高彦　川島　清実
川田　隆生　川鍋　和史
河原　孝子　岸　誠太郎
木嶋　清　木村　忠夫
倉田　君子　倉田　耕市
小池　利昌　小久保和子
小島　成一　小島　敏男
小林　一好　小林　義和
小林　友明　小松　和弘
斎藤　勲　斎藤　慶一
斉藤　哲夫　坂田　敬子
島﨑　政敏　清水　孝男
杉田　禮三　須郷　隆
秋山　佳于
新井　重人
新井　孝義
飯田　芳幸
伊藤　秀一
今津利之助
丑久保紀美
江森　保
大澤　孝至
岡田　則之
小倉佐江子
小幡　和佑
柿沼　貴代
風間　敏弘
加藤　元三
鴨田　武
川島　亨
川野　健人
岸田　昌久
国本　哲秀
栗原　毬子
木暮　照子
小菅　恵一
小林　邦雄
小山喜一郎
斉藤　準一
坂本　光代
清水　威男
鈴木スイ子
鈴木敬一郎
鈴木貞二郎
世川　恒彦
高橋　弘行
田島　正雄
津田　馨
時田　忠彦
長島　康雄
長野　武俊
新島　璋記
野口　昭夫
野村　正幸
長谷川昌夫
畠山　恒雄
平井　武夫
藤倉　武
古市　恒裕
堀　秀雄
松平由美子
松本　安夫
水谷　良二
最上　絹江
山田　映子
吉田　寿夫
渡辺　幸子
鈴木　茂
鈴木　寿子
世川　祐多
滝澤　布沙
田代克太郎
蔦　久子
冨田　久雄
長島　豊
中村　博行
根岸　友憲
野口　啓造
橋本　祐一
長谷川盛雄
羽鳥　弘
平井ユリ枝
藤田　敬
古沢　勇治
町田　祥子
松本　健一
丸山　和雄
水野　武久
森　安正
横田　保良
吉田　豊彦
渡辺　邦道
鈴木　淳一
世川　進
関根　俊一
田島　博夫
田中　利幸
戸ヶ崎直司
中川　忠昭
中西　忠夫
中山　孝文
根岸　仁司
野口　浩一
蓮見　牧子
畠山　貞子
半田　太
平社　輝男
二味　宏
細谷　茂樹
松井　正俊
松本　太郎
ミカミヒロシ
武笠　勇
梁瀬　里司
吉田　幸一
若松　良一
綿貫　守男
平川　充保（進修館高校　校長）
新井　弘美（埼玉りそな銀行行田支店長）
浅見　隆之（武蔵野銀行　行田支店長）
三ツ井　誠（埼玉県信用金庫行田支店長）
根本　建志（群馬銀行行田支店長）

（平成二十八年十二月一日現在）

平成二十八年度 事業行事経過メモ

1 会議

（一）総会

①定時総会開催

（会務報告、講演会、懇親会）

日　時　平成二十八年五月二十五日㈬
　　参加者　五十五名
　　午後三時～午後七時三〇分

会　場　ベルヴィアイトピア

来　賓

行田市長代理　川島　将司　様
行田市議会議長　平社　輝男　様
埼玉県議会議員　鈴木　聖二　様令夫人
行田商工会議所名誉会頭　鈴木　秀憲　様
行田商工会議所会頭　小川　雅以　様
行田商工会議所副会頭　細井　保雄　様
ものつくり大学学長　赤松　明　様
行田ロータリークラブ会長　小澤　瑛　様
行田さくらロータリークラブ会長代理　阿部秀二郎　様
行田ライオンズクラブ会長　岡田　安秀　様
（公社）行田青年会議所理事長　山岸　泰輔　様
㈱埼玉新聞社代表取締役　小川　秀樹　様
埼玉浮き城プロバスクラブ会長　須郷　隆　様
忍藩阿部家二十二代当主　阿部　正靖　様
特別招待会員　小池ミチ子　様
講演会講師　世川　祐多　様

松平忠昌議長の議事進行により、平成二十七年度の事業および決算、監査について報告を行なった。

記念講演

講　師　世川祐多（せがわゆうた）氏
　　本会会員・国立パリ第七大学修士課程

演　題　「パリの現状から考える忍郷友会の存在意義」

（二）役員会

①理事・監事会

日　時　平成二十八年四月二十日㈬
　　午後一時三〇分～午後四時三〇分

場　所　公益財団法人忍郷友会本部事務所

審議事項

1　平成二十七年度事業報告書（案）について審議
2　平成二十七年度収支決算書（案）について
3　定時総会・講演会・懇親会ご案内（案）について
4　役員会・総会・講演会・懇親会　タイムテーブル（案）について
5　総会・講演会・懇親会ご招待者リスト（案）について
6　（公財）忍郷友会の慶弔に関する内規（案）について
7　新入会員承認の件について
8　その他

②評議員会

日　時　平成二十七年六月二十一日㈰

会　場　ベルヴィアイトピア

審議事項

役員人事について
1　会長の互選
2　退任役員の処遇

③理事・監事会

日　時　平成二十八年十一月十四日月
　　午後一時三〇分～午後四時三〇分

会　場　公益財団法人忍郷友会本部事務所

審議事項

1　平成二十九年度事業計画（案）について
2　平成二十九年度予算（案）について
3　評議員辞任承認の件
4　評議員選任承認の件
5　新入会員承認の件
6　定時総会及び賀正会承認の件
7　平成二十八年度「進脩塾」事業計画・予算修正について
8　その他

④評議員会

日　時　平成二十七年十二月八日月
　　午後一時三〇分～午後三時まで

会　場　行田商工センター四〇二号室

審議事項

1　平成二十九年度事業計画について
2　平成二十九年度予算について
3　評議員辞任承認の件
4　評議員選任承認の件
5　新入会員承認の件
6　定時総会及び賀正会承認の件
7　平成二十八年度「進脩塾」事業計画・予算修正について
8　その他

2 教育奨励事業

Ⅰ 進脩塾活動

①市民公開講座

日　時　平成二十八年二月二十七日㈯
　　午後二時～午後六時三〇分

会　場　行田市商工センター

演　題　「修己の書『小学』を読む」

講　師　荒井　桂　先生（《公財》郷学研究所・安岡正篤記念館副理事長兼所長）

受講者　八十三名

②定例講座

日　時　毎月第四土曜日
午後六時～午後八時

会　場　行田商工センター四〇三号会議室

講　師　荒井　桂　先生（《公財》郷学研究所・安岡正篤記念館副理事長兼所長）

四月「孟子」荒井　桂　先生
五月「孟子」荒井　桂　先生
八月「孟子」荒井　桂　先生
九月「孟子」荒井　桂　先生
十月「孟子」荒井　桂　先生
三月「孟子」荒井　桂　先生

内　容　進脩塾の目的、講義、受講者の感想、今日の論語から

＊行田ケーブルテレビにて放映

③忍藩子ども塾素読教室の開催

日　時　毎月第一、第二、第三土曜日
午前九時～午前十二時

場　所　行田市郷土博物館講座室

受講者　行田市内在住の小学生五〇名

講　師　田代敬二・奥田七寿・川田隆生

内　容　論語・漢詩の素読学習

④東京支部素読教室開催

日　時　毎月二回土曜日
午後二時三〇分～午後三時三〇分

場　所　天眼寺（東京上野）

受講者　天眼寺関係者　一〇名

講　師　田代敬二・川田隆生

内　容　論語・漢詩の素読教室

⑤漢文検定試験の実施

日　時　平成二十八年十月十五日㈯
午前九時三〇分～午前十二時

場　所　行田市郷土博物館講座室

受験者　二十七名（寺子屋の部初級、中級、上級）

⑥出前出張授業

対　象　行田市立埼玉小学校全学年

日　時　毎週水曜日
午前八時一〇分～午前八時三〇分

講　師　田代敬二、奥田七寿

内　容　論語・漢詩の学習

Ⅱ「第三〇回　浮き城のまち行田少年の主張大会」優秀者表彰

日　時　平成二十八年十一月十二日㈯
午後一時十五分～午後四時三〇分

場　所　行田教育文化センター「みらい」文化ホール

応募者　市内小・中学校児童生徒五十三名

発表者　二十七名　鈴木副会長より記念品を贈呈した

Ⅲ　読書推進実行委員会

第十三回読み聞かせボランティアスキルアップ講座「読み聞かせ　絵本の選び方」

日　時　平成二十八年二月二十日㈯
午後一時三〇分～午後三時三〇分

場　所　忍・行田公民館ホール

講　師　杉山きく子先生

受講者　六十六名

3　会報73号の発行

会報七十二号を平成二十八年十二月一日に発行

全会員、市内各小、中、高校、幼稚園、保育園及び素読教室関係者に配布

4　会員増強対策

新入会者紹介（敬称略　入会順）

紹介者（矢澤　大和）

・赤松　明　様
埼玉県行田市前谷
学校法人　ものつくり大学
学長

・時田　忠彦　様
行田市忍一丁目
㈲トキタ　セブンイレブン行田向町店

紹介者（世川　祐多）

・ミカミ　ヒロシ　様
秩父市荒川上田野
陶芸家

・世川　進　様
墨田区両国二丁目
㈱たくみ　監査役

紹介者（田代　克太郎）

・岩佐　博之　様
熊谷市宮町
東毛ガンセンター元薬剤部長

紹介者（小川　雅以）

・松本　太郎　様
練馬区光が丘三丁目
元ＮＨＫ放送博物館館長

紹介者（世川　祐多）

・平井　武夫　様
新座市新堀三丁目
㈱シンセー　代表取締役会長

5、予定

○市民公開講座

藩校教育を現代に活かす「朗唱まつり」

日　時　平成二十九年二月二十六日㈰

場　所　行田市教育文化センター「みらい」

講　師　荒井　桂先生

「志を立てる」論語・漢詩素読発表

漢詩「琵琶行」朗唱披露

「士規」素読

○第十四回読書推進学習会

映画〝じんじん〟上映

「絵本のまち」をテーマに、絵本の持つ素晴らしい力・読み聞かせの時間は宝物というメッセージを軸に町づくりを始めた北海道の小さな町の心あたたまる作品です。

日　時　平成二十九年三月四日㈯
十三時三〇分より十六時まで

場　所　行田市中央公民館二階・映像ホール

申込み　ご参加希望の会員は事務局・宮脇書店行田店まで入場は無料です。

第三十一回　浮き城のまち行田
「少年の主張大会」

少年の主張　副委員長　瀬　山　文　孝

平成二十八年十一月十二日㈯十三時より行田市教育文化センター「みらい」ホールにて、第三十一回浮き城のまち行田「少年の主張大会」が開催されました。

この大会は市内の小・中学校の代表者が日常生活を通して考えていることを市民に発表するもので、青少年健全育成を図るために、行田市教育委員会・青少年育成行田市民会議が主催し、（公財）忍郷友会が後援となり毎年開催されているもので、昭和六十一年度の初回から今年まで三十一回目になります。発表者は市内小学校六年生十八名と中学校三年生が九名の合計二十七名の児童生徒が参加しました。また今回、北埼英語弁論大会の代表者による英語のスピーチも発表されました。

今年のテーマは家族・いじめ・スポーツ・将来の夢・日常生活の中で感じること・など多岐にわたるテーマで力強く発表していただきました。

主催者を代表して行田市教育委員会教育長の森郁子さまのご挨拶があり、来賓挨拶では当財団の鈴木副会長よりご挨拶をいただきました。鈴木副会長からは、常々当会の松平会長は「志」「学」「愛」「感謝」の四つのキーワードをお我々にお話しくださいます。私は志を持って学び、愛と感謝をもって接する。そんな風に理解しています。

我々忍郷友会は、この少年の主張大会をはじめ読書推進事業支援、素読教室などを通して地元の若い人たちの勉学の支援を行っています。児童生徒の皆さんへのお願いですが、チャレンジ精神と、勉学できる幸せを親御さん、先生、地域の方たちに感謝しながら、自信を持って活動してください。本日は素晴らしい発表が聞けるとわくわくして待っています。とのご挨拶をいただきました。

審査終了後、主催者代表より表彰状を、鈴木副会長より発表者全員に「広辞苑」が贈呈されました。優秀者は次回賀正会にて発表していただきますのでどうぞお楽しみにしてください。

当会からは鈴木副会長・小川理事・小山理事・奥田評議委員・増田事務局員の参加を頂きました。

来年の三十二回目の大会にも多くの会員の参加をいただければと思っています。是非、子供達の生の発表をお聞き下さい。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

忍郷友会会長賞三作品を紹介します

忍郷友会長賞　小学校の部

はげます言葉

行田市立南小学校六年　野　辺　たま希

「用意、バンッ」運動会のメイン競技、徒競走が始まりました。放送係が実況放送をしています。

「赤組青組速い。黄組がんばってください。

四年生の私は、黄色いはちまきをして精一杯走っていました。その言葉は、みんなに追いつこうと必死になって走っている私に向けられたとしか思えない響きでした。

がんばっているのに「がんばれ」と言われても、そんなこと無理、と走りながら考えていました。人には得意、不得意があります。私は走るのが苦手ですが、その時、家族やみんなの応援を背に受けてがんばっていました。それなのに「がんばれ」と言われても、これ以上何をがんばればいいのかと思ってしまいました。私たちは応援の気持ちから、つい、「がんばれ」と簡単に使ってしまいますが、言われるとつらい時もあるのではないでしょうか。

そんな経験から、私は、五年生の運動会で放送係になりました。「がんばってください」を使わない放送をするためです。運動会の何週間も前から放送で使う言葉を選びました。

「さすが六年生」や「どのチームもがんばっています」など、遅い人をせきたてるような言い方をしないように工夫しました。

「今年の実況放送、思いやりが感じられてよかったよ。」

何人かの先生や友達が、私の工夫に気付いてくれました。私は、思わず「やったぁ」と心の中でさけんでしまいました。そして、誰かが私と同じような工夫をしてくれるようになるのでは、と思えました。

今年の運動会では、残念ながら放送係ではなく、決勝係となりました。ゴールした人たちを順位ごとにむかえ入れる係です。順位をつけることは必ずしも悪いことではありませんが、がっかりした気持ちでゴールする人もいると思います。だから、今年はそんな人の心が少しでも軽くなるような言葉を考えました。当日は、「最後まであきらめずに走れたね」と言ったら、にこっと笑顔になった子を見て、ほっとしました。

このような経験をした人は、他にもいるように思います。みなさんは、どうですか。

もちろん、「がんばれ」というはげましのおかげで、いつも以上の力が出せることもあります。大切なのは、相手の気持ちを考えて言葉を選ぶことだと思います。しかし、それは簡単ではありません。だからこそ、一生けん命に考えた言葉は、気持ちが伝わるのではないでしょうか。

握手で心をつなごう

行田市立東小学校六年　越　もえ香

みなさんが「握手」をするのはどんなときですか。そしてどんな思いをこめて握手をしていますか。

私の入っているサッカーチームの女子は私一人です。ですが、チームの仲間は私を一人のメンバーとして見ています。そして私も、絶対に周りに負けないという気持ちで練習をしたり試合に臨んだりしています

私は、試合前の握手には、「お互いにベストをつくして戦おう」という気持ちをこめています。試合後も握手をしますが、「試合をしてくれてありがとう」という感謝や「ナイスプレーだったね」という気持ちをこめています。特に試合が終わってする握手は、試合中は「敵」だった相手がサッカーでつながる「仲間」に切りかわる瞬間です。

ところが、試合の握手の場面で残念なことがあります。私が女子だからでしょうか。私のときだけすっと手を引っこめられてしまうことがあります。また、試合に負けたくやしさからでしょう。私が手を差し出しても無視されてしまうことがあります。逆に勝ったことで態度が大きくなってしまうのか、「勝手ににぎれ」とでもいうかのような握手もあります。

その一方で、心が温かくなるうれしい握手もありました。負けてくやしいはずなのに、すっきりした笑顔でしてくれる握手がそうです。中には「おめでとう」とか「次もがんばって」と言葉をかけながら握手をしてくれる人もいます。

このようなことから「握手」とは、礼儀である以上に、相手へのエールであり、相手とのつながりを作る大切なコミュニケーションの一つだと私は考えます。気持ちがこめられて

いない握手からは何も生まれません。
　オリンピックイヤーであるこの夏、テレビでは様々なスポーツの中継が行われていました。試合に敗れても、勝った選手に敬意を示したり祝福したりする姿を見たときには、人と人とのつながりが国境をこえて広がっていくのを感じました。その握手は、私が考えていた理想の握手そのものでした。心をこめた握手こそは、相手とつながる意思表示です。私はこれからも、心をつなぐ握手を広げていきます。

忍郷友会長賞　中学校の部

未来に伝える

行田市立行田中学校三年　久保田　千　裕

「あんな悲惨な戦争は二度としてはいけません。このような過去を繰り返さぬよう、こうやってみなさんにお話をしているのです。」

　今年の六月、私達は修学旅行で広島の平和記念公園を訪れました。この言葉は、そのとき聞いた被爆体験者の方のお話で話された言葉です。
　広島では、今まで教科書やテレビでしか見たことのなかった原爆ドームを実際にこの目で見ることができました。頑丈そうに見える壁も片面は骨組みがむき出しになり、原子爆弾の威力のすさまじさと、七十一年という時の流れを物語っていました。
　また、「原爆の子の像」にも行きました。そこには世界各国から届けられた数多くの千羽鶴と共に私達が作ったものも奉納されていました。平和記念資料館には、先日広島を訪問されたオバマ大統領が折った鶴も展示されていました。それらの色鮮やかな鶴には、一羽一羽にいろいろな人達の平和を願う気持ちが込められていて、私は広島と世界との強い繋がりを感じました。
　そして私達は、被爆者の方のお話を聞くことができました。そのお話は、耳をふさぎたくなるほど怖いお話でした。爆心地に近かった人達は一瞬で焼け、亡くなっていきました。少し離れていたところで被爆した人達も爆風と熱風によって飛ばされたそうです。「友達の叫ぶ声が聞こえて、助けてあげたくても自分も板に挟まり助けてあげられなかった。」と言っていました。私自身、戦争を体験したことも見たこともありません。ですが、お話ししていただいたことが実際に目の前で起こっていたのだと思うと私も心が痛くなりました。
　はじめに紹介した言葉は被爆者の方がしめくくりに話された言葉です。そして、私はその言葉を聞いて、私の曾祖母のことを思い出しました。
　私には四年前まで曾祖母がいました。遊ぶたびに自分の体験談を話してくれました。初めて戦争とはどんなものだったのか話を聞いたとき、私はものすごい衝撃を受けました。空にはたくさんの飛行機が飛び交い、自分や兄弟たちの身を守るため田んぼの中に入って隠れたそうです。戦争が終わってからも食べるものが無く、みんな生きるために必死だったのだと言います。話の最後にいつも曾祖母は「あんな恐ろしい戦争はこれから二度とするもんじゃないね。」
と言っていました。原子爆弾の被爆者の方や私の曾祖母のように、戦争を体験した人達は辛い記憶をたどり私達に大切なことを教えてくれようとしています。そしてみんな同じ思いをかかえています。
　あの恐怖から七十一年。今の日本は、七十一年前からは想像もできないほど発展し、豊かになりました。
　これから生まれてくる子どもたちは、もちろん戦争を知りません。これからもこの平和な日本を守っていくため、戦争を体験した方々の願いを叶えるために私達にできること。それは、「伝える」ということです。私達は体験談としてお話を直接聞くことができましたが、これから先ずっとお話を聞けるわけではありません。これからは私達が伝える側となり次の世代に伝えていかなければなりません。あのような辛い過去を多くの人に知ってもらえることで未来の笑顔は守れると私は思います。

読書推進運動について

読書推進実行委員長　大野年司

行田地域の子供さんの読書推進を目的に行われてまいりました、読み聞かせボランティアの皆様とのステップアップ研修も、皆様に大変喜んで頂き、一定の成果を挙げてまいりました。行田市立図書館内に在ります、行田ロータリー文庫の絵本の数も年々増え、図書館全体としても絵が充実してまいりました。

今年は元都立図書館司書であり、皆様よくご存知の東京子ども図書館の理事をされている杉山きく子先生に「読み聞かせ絵本の選び方」というテーマでご指導を頂きました。昨年に引き続き大変多くの参加者のもと、講演ご指導の終了後も、熱心に先生と個別相談されている方もたくさんいらっしゃるような盛況ぶりでありました。

行田ではこのような研修が、十三回という回を重ねてまいりましたので、そのレベルはかなり高いように思っております。この先さらに子どもの読書推進を推し進める為に、新たなステージでの取り組みも同時に考えてゆかなければならないところに来ているとの思いも致しております。今後、関東随一子ども達の読書推進が進んでいる地域になるべく、この読書推進実行委員会は、皆様と力を合わせ、地域の読書推進にお役立ちができればと願っております。

(公財)忍郷友会
第14回読書推進学習会
映画
『じんじん』上映会

と　き：平成29年3月4日(土)
13:30～16:00まで

ところ：行田市中央公民館
2階・映像ホール

【入場無料】

申込み：事務局又は宮脇書店行田店まで

快適ガスライフ
サイカン工業株式会社
エネスタ行田　エネスタ熊谷
エネスタ鴻巣　エネスタ鴻巣西

快適な環境づくりをめざして
(株)清水アーネット
行田・熊谷・小山

進脩塾活動について

進脩塾主幹　田代敬二

進脩塾は、郷人の人間性の開発、人格の湯治、徳性を磨くことを目指して、その依って来たるところを古典に求めて、二十六年の歳月を重ねて参りました。此処に至り、漸くにしてそれぞれの学習の形が整って来たように思われますので、ご紹介申し上げますと共に、今後一層のご協力の程お願い申し上げる次第です。

各教場の現況

一　進脩塾古典講座（市民公開講座）
二　忍藩子ども塾素読教室
三　市立埼玉小学校へ出前素読教室
四　天眼寺親子素読教室と伊東千穂ちゃん
五　漢文検定試験
六　藩校教育を現代に活かす「朗唱まつり」

進脩塾古典講座（市民公開講座）

毎回講師の博覧強記に感動しつつも、人生いかに生くべきかを学んでおります。

日　時　毎月第四土曜日　午後六時～八時まで
場　所　行田市商工センター　会議室
内　容
㈠素読　「光明蔵」古人の名詩・名文に触れ觸れ文中の人物の生きざまを学びます。
㈡古典講座
「孟子」　講師　荒井桂先生

忍藩子ども素読教室

平成十七年四月から漢文素読教室を幼児十三名で開塾、その後五年間の活動が行田市の眼にとまり、平成二十四年から教育委員会共催として「忍藩子ども素読教室」へと改称、塾生が一挙に増え、現在五十名程の在籍者となりました。今年六月の入校式では、森教育長から夏目漱石・森鴎外・福沢諭吉など多くの著名人が小さい頃から論語・漢詩を学び大成されたことをお話くださいました。子どもが論語や漢詩を暗唱する力は驚くべきものがあります。声に出した言葉を通して物事を理解し情緒を感得できる素読の楽しさをもっと多くの子供たちに広めたいと考えております。

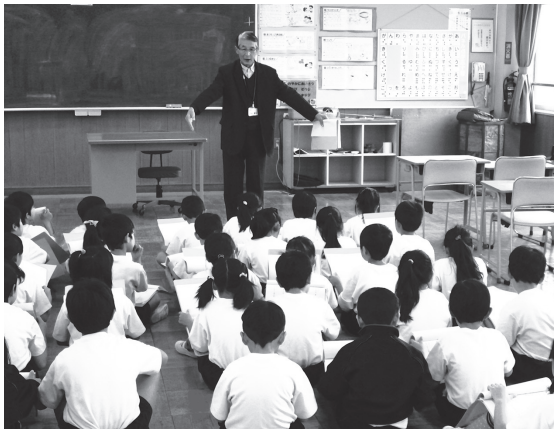
教室では、初・中・上級に分かれての講座にて、初心者でも安心して受講できます。

第一・第二・第三の土曜日
九時～十二時
行田市郷土博物館にて開講
教材　寺子屋編テキスト
藩校編テキスト
湯島聖堂漢文検定試験委員会編集
論語編　漢詩編　大学編
公益財団法人　忍郷友会刊行

（文責　川田隆生）

市立埼玉小学校へ出前素読教室

平成二十四年にスタートした市立埼玉小学校（岡島伸行校長）の出前素読教室は五年目となり、月曜日の朝は「少年老い易く学成り難し・・・」「子曰わく、弟子入りては即ち孝・・・」音吐朗々と元気な声が聞こえてきます。毎週月曜日（原則として）始業前に二十分間行われています。六年生は論語三十編。漢詩二十章を習得致しました。覚えた名文・名詩はこれから成長されるとともに深化され、必ずや花が開く時が来ることでしょう。



（文責／奥田　七寿）

天眼寺親子素読教室

お茶の水女子大学付属中学校
二年　伊東知穂

小学校二年生の春、天眼寺で素読居室が開かれることを祖母から聞き、通い始めました。

うまく読めると楽しいので、予習として次月に教室で扱う部分を声に出して読みながら覚え、先生に指名されたらすぐに発表できるようにしていました。

湯島聖堂漢文検定に初めて挑戦したのは三年生の秋でした。先生方に準備を手伝っていただき、無事合格することができました。試験会場の聖堂からの帰りぎわに石川先生にお会いして小さな論語の本をいただき、合格後には教室で忍藩家紋のストラップをいただきました。今でもどちらも大切にしております。

行田で開催された「全国藩校サミット」にはリーダーの一人として参加しましたが、初めての大舞台で、読みはじめての声がひっくり返ってしまったと反省しました。埼玉小の当時の校長先生と、私の通う小学校の校長先生が同郷の友人というお話を聞き、後日校庭で「帰去来の辞」の暗誦を聞いていただきました。このような経験をとおして人前で声を出すことに自信がつきました。

中学校に入学後、両親の勧めがきっかけで朗読を始めました。漢文を繰り返し読んでいると情景が思い浮かぶようになります。朗読するときにも、同じように情景を描き、それを伝えようとこころがけて読んでいます。素読で培った私の声は、力みがなく自然で聞きとりやすいとほめてくださる方がたくさんいて、そのたびに嬉しくなります。次は、漢文検定五段に合格することを目標に、これからも素読に磨きをかけていきたいと思います。

経歴

湯島聖堂漢文検定四段（藩校編上級）　全国最年少合格
平成二十七年度文京区朗読コンテスト　青少年の部優秀賞
平成二十八年第三十三回ＮＨＫ杯全国中学校放送コンテスト　朗読部門優秀賞
平成二十八年第六十六回全国小・中学校作文コンクール　中学校の部佳作
平成二十八年第八回文化庁古典の日推進委員会朗読コンテスト　中高生部門　大賞（中学生初受賞）

漢文検定試験について

忍藩子ども塾素読教室では、論語・漢詩・大学等の朗唱などを楽しみながら、漢文に興味を持ってもらう為、希望者には平成二十二年度より湯島聖堂の漢文検定を行っています。今年度より受験し易くする為、年二回実施することとなりました。

第一回目は、十月十五日（土）、行田市郷土博物館にて行われ、始めて初級朗唱試験を受験する児童に、松平忠昌会長より「励ましの言葉」を頂き、幼稚園児年少～中学一年生の塾生二十六名が挑戦しました。論語・漢詩三級十四名、漢詩二級四名は見事全員合格しました。難しい一級・初段は、論語初段二名・漢詩初段一名が合格を果たしました。

当日は、審査員として松平忠昌会長を始め、小林晴夫評議員・横川福治評議員が厳粛に審査を行いました。幼児・児童の淀み無く朗唱するのを目の当たりにして感激頻りでした。

第二回目は平成二十九年一月二十一日㈯の予定です。

（文責／遠藤　初枝）

藩校教育を現代に活かす「朗唱まつり」

藩校サミット以後、貴重な体験を更に拡充発展を計る意味で、幼稚園・小学校・中学校・高校・一般などとの連携の輪を拡げ、「朗唱まつり」として二月二十六日㈰の開催を目指して、計画を推進中です。

続開き市民公開講座
藩校教育を現代に活かす
朗唱まつり
人間性の回復・情緒の育成・人格の陶冶を目指して、古典に学び古典に親しむ、朗唱まつりの開催です。
論語とは、漢詩とは、素読ってなあに？と思う方、是非一度ご参加ください。
平成29年2月26日(日)　開場／PM 2:00　開演／PM 2:30
行田市教育文化センター「みらい」
入場無料　先着500名
プログラム
● 幼稚園児の部　「論語・漢詩」　素読　老木幼稚園々児
● 小学生の部　「論語・漢詩」　〃　忍藩こども塾 & 市立埼玉小学校児童
● 中学生の部　「短歌詩」　朗唱　NHK教育番組「中学生の時間」「日本の詩歌」「日本の歌謡」「日本の音楽」「日本の音楽」「日本の音楽

蓮の実歴史愛好会主催　郷土の歴史講座

遠藤初枝

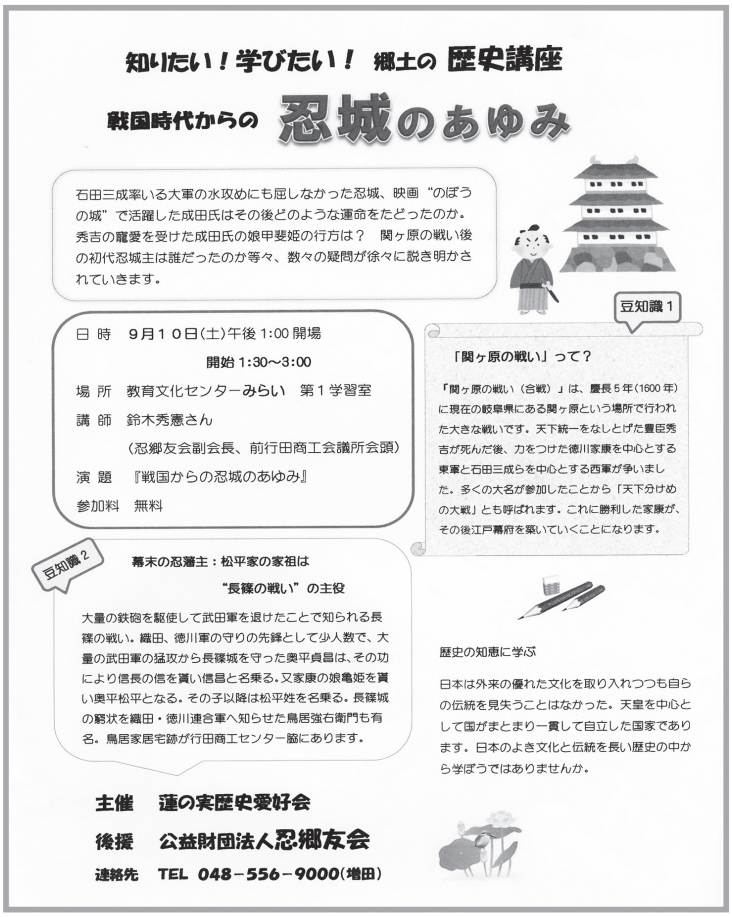
〝忍城のあゆみ〟盛況に開催される

まだ暑さの残る、去る九月十日㈯、歴史好きな会員の集まりである〝蓮の実歴史愛好会〟が、始めての試みとして忍郷友会のご後援いただき郷土の歴史講座を開催しました。

当日は、市内外から歴史に興味ある方、関心のある方等、たくさんの参加者がお出でになり、会場（みらい　第一学習室）から溢れるほどとなり、主催者として嬉しい悲鳴となりました。

講師の鈴木秀憲（当会副会長）さんの日本史の全体像から、戦国時代の合戦や武将の話、そして忍城のなりたち、初代忍城主は誰なのか、更に成田氏のその後など話題満載のお話に、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

今後もこのような講座を期待する声も多く、市民の皆さんの中には、歴史に関心をもち、学びたいと思っている方がたくさんいらっしゃることに、新ためて意義を感じました。



知りたい！学びたい！　郷土の歴史講座

戦国時代からの　忍城のあゆみ

石田三成率いる大軍の水攻めにも屈しなかった忍城、映画“のぼうの城”で活躍した成田氏はその後どのような運命をたどったのか。秀吉の寵愛を受けた成田氏の娘甲斐姫の行方は？　関ヶ原の戦い後の初代忍城主は誰だったのか等々、数々の疑問が徐々に説き明かされていきます。

日　時　９月１０日(土)午後 1:00 開場
開始 1:30～3:00
場　所　教育文化センターみらい　第１学習室
講　師　鈴木秀憲さん
（忍郷友会副会長、前行田商工会議所会頭）
演　題　『戦国からの忍城のあゆみ』
参加料　無料

豆知識１

「関ヶ原の戦い」って？

「関ヶ原の戦い（合戦）」は、慶長５年(1600 年)に現在の岐阜県にある関ヶ原という場所で行われた大きな戦いです。天下統一をなしとげた豊臣秀吉が死んだ後、力をつけた徳川家康を中心とする東軍と石田三成らを中心とする西軍が争いました。多くの大名が参加したことから「天下分けめの大戦」とも呼ばれます。これに勝利した家康が、その後江戸幕府を築いていくことになります。

豆知識２

幕末の忍藩主：松平家の家祖は
“長篠の戦い”の主役

大量の鉄砲を駆使して武田軍を退けたことで知られる長篠の戦い。織田、徳川軍の守りの先鋒として少人数で、大量の武田軍の猛攻から長篠城を守った奥平貞昌は、その功により信長の信を賈い信昌と名乗る。又家康の娘亀姫を賈い奥平松平となる。その子以降は松平姓を名乗る。長篠城の絵図状を織田・徳川連合軍へ知らせた鳥居強右衛門も有名。鳥居家居宅跡が行田商工センター脇にあります。

歴史の知恵に学ぶ

日本は外来の優れた文化を取り入れつつも自らの伝統を見失うことはなかった。天皇を中心として国がまとまり一貫して自立した国家であります。日本のよき文化と伝統を長い歴史の中から学ぼうではありませんか。

主催　蓮の実歴史愛好会
後援　公益財団法人忍郷友会
連絡先　TEL 048－556－9000(増田)

小山商事株式会社
会長　小山　博
社長　小山喜一郎
本社　行田市埼玉三三五一
TEL〇四八－五五九－四一二一(代)
リカリッシュ旭町店
TEL〇四八－五五六－三七一一
リカリッシュ太井店（熊谷）
TEL〇四八－五九九－四七一一
宝くじ売場持田店
TEL〇四八－五五三－四七一一

第十四回全国藩校サミット丸亀大会に参加して

坂田　敬子

第十四回目となった全国藩校サミット丸亀大会が去る十一月二十六，二十七日香川県丸亀市民会館に於いて、四国では始めての大会として開催された。

丸亀市は、丸亀うちわと丸亀城（木造天守十二名城の一つで、日本一高い石垣）が全国的に有名。金毘羅宮の参道口と、海上交通の要衝の城下町として栄えた。瀬戸内海を望み、市中に土器川が流れ、中心部に讃岐富士と呼ばれる標高四百二十二メートルの飯野山を仰ぎ、少雨の為溜池が散在する。現在十一万人の人口をかかえる都市である。京極家は二百十年に亘り、当地六万石を治めた。

大会は、-繋げよう！藩校の人づくりを地方創生に-をスローガンに掲げ、午前に藩主会議、藩校会議をオークラホテル丸亀にて、午後に第一部研修会、第二部藩校サミットを丸亀市民会館にて、夕刻より、交流会がオークラホテル丸亀にて、進行実施された。

参加藩校は十九藩。当忍藩からも松平家十六代ご当主松平忠昌忍郷友会長、忍郷友会副会長鈴木秀憲氏、事務局長矢澤大和氏他総勢十五名での参加となりました。

第一部研修会は、「京極高朗（琴峰）公と漢詩」をテーマに、二松学舎大学教授加藤国安氏の講演会。丸亀藩の漢学の伝統と藩校「正明館」について語られ、一万三千四百首余りの漢詩を読まれた名君として名高い六代京極高朗公の漢詩の紹介がありました。

秋月藩　ご当主　黒田様と忍藩参加者

第二部藩校サミットでは、香川県立坂出高等学校音楽部代表による国家斉唱に続き、主催者として、丸亀藩京極家第三十二代ご当主京極高澄氏のご挨拶、香川県知事、衆議院議員、参議院議員、丸亀市長のご挨拶があり、来賓紹介の後、記念講演として、直木賞作家安部龍太郎氏と長浜市長浜歴史博物館館長太田浩司氏との対談が行われました。七百年以上の歴史をもつ名門京極家について、代々の墓所滋賀県米原市徳源院清滝寺とのゆかり等興味深く語られた。

対談後、参加藩主ご紹介があり、代表として徳川宗家十八代ご当主徳川恒孝氏がご挨拶を述べました。

第三部は、藩校「正明館」の流れをくみ「明倫」の扁額が掲げられていた丸亀市立城北小学校児童六十名による「孟子」大素読教室。心と声がピタッと揃った素読は、練習の賜物。丸亀市立南中学校生徒二十七名による京極発幸舞連の演舞（よさこい踊り三曲）。香川県立丸亀高等学校書道部による書道パフォーマンスと続きます。音楽に合わせ力強く「終始一誠意」「波婆羅」の大書を見事に書き上げました。

会場を埋めた若い世代から大人まで、「孟子」や漢詩などの漢文にふれ、日本文化の根幹をなすその魅力を強く実感する好機となりました。

大会終盤は、原田大会事務局長による「大会宣言」。白石大会副実行

徳川宗家・徳川恒孝様ご夫婦

左より黒田様、松平会長、庄内藩ご当主酒井様ご夫婦

委員長による次期開催地「第十五回金沢大会」の報告。次期開催地代表による挨拶と引継書受渡も無事完了し、閉会となりました。

夕刻より、会場をオークラホテル丸亀に移して交流会が行われました。約二六〇名の参加者は、名物の讃岐うどんに舌鼓を打ちながら、一年振りの交流を深めました。

翌二十七日(日)は、エクスカーションに参加し、京極家ゆかりの地を訪ねました。京極家墓所玄要寺・雨の煙る丸亀城・多度津藩家老林求馬邸及び私塾「弘濱院」・中津万象園・名刀ニッカリ青江特別公開の丸亀市猪熊玄一郎現代美術館へと、松平忠昌会長を始め、徳川宗家夫妻、丸亀藩京極高澄夫妻他、各藩主の方々とご一緒に巡り、雨模様にもかかわらず、楽しい半日となりました。特に林求馬邸にて丁寧な呈茶があり、玄関先の、いけばなの大作にもお心遣いを感じ、思い出に残るひとときとなりました。

空港へ向うバスに乗り込む際、振り向くと石垣の素晴らしい丸亀城が、悠然として威厳をもってたたずんでいるように見えたのでした。盛会の裡に終了した第十四回藩校サミット丸亀大会から第十五回金沢大会へと加賀藩校「明倫堂・経武館」を紐解く来年に多いに期待したいと思います。

上席より、徳川宗家・徳川恒孝様、徳川宣子様(和歌山藩)、松平忠昌会長

藩校サミット丸亀大会へ行ってきました。

鈴木秀憲

藩校サミット丸亀大会へ行ってきました。その詳細につきましては他の方からの報告も有りますので、私はこの機会に訪れた四国のお城について報告しましょう。

と云っても四国にも多くの城が存在します。そして過去に四国を訪れたついでにレンタカーを借りて既に訪れた城もいくつかあります。

今回改めて、私は「日本の一〇〇名城」(公益財団法人日本城郭協会が選定)に選ばれている九城を、埼玉からマイカーで訪れると云う　考えてみれば(否、考えてみなくても)つまらない事に拘りました。

初日は、三重県亀山市関町の町並みを見ただけで、後は神戸迄直行。十八時着。

二日目は、先ず、神戸の湊川神社へ寄りました。ここは楠木正成が建武の親政後に理を掲げ、後醍醐天皇を奉じ、最期は足利尊氏との戦いに敗れ、そして弟の楠木正季と共に自刃した場所です。その後に須磨寺を参拝し、熊谷次郎直実と平敦盛の対の銅像や青葉の笛を目の当たりにし、往時に思いを馳せました。この日は年に一度の火渡り式も行われました。熊谷の皆様に是非行って頂きたいお寺さんです。

その後、明石海峡大橋・淡路島・大鳴門橋を経て十三時に徳島城址へ着きました。一五八五年の四国征伐の後に蜂須賀小六の子家政が阿波の国(徳島県)を与えられ築城した城です。徳島の中心地にある山を利用し山上に詰城、山麓に居城を築いたそうです。現在城郭は共にありませんが、敷地の三面を囲む水堀と立派な石垣が残され、居館跡地に立派な書院造の市立徳島城博物館を建て、当時からの庭園が整備されていました。一六〇〇年石田三成と徳川家康が反目したいわゆる関ヶ原の戦いの時、蜂須賀家は豊臣恩顧の大名です。立場上は石田三成方ですが、当主家政は自分が引退し家督を嫡子至鎮(よししげ)へ譲り、至鎮には徳川方へ付くことを示唆し自分は高野山へ籠り豊臣方へ礼を尽します。結

果は徳川方の勝ちで蜂須賀至鎮は戦功もあり、見事この困難な時期を乗り越えました。大阪の陣では更に功績をあげ淡路島も加えられ、蜂須賀家はこの後幕末までこの地の藩主を務め、明治時代を迎えます。

十四時に徳島城址を発ち、十五時半に高松城址へ着きました。城の跡地は高松港に面し、ＪＲ高松駅とも接しています。というより、城跡の一部に港や駅が出来、市の中心地が発展したというべきでしょう。当時の広かった城域の一部（地元の人によると現在は往時の一／八程度）が城址として残っていますが、それでも広く三〇〇ｍ四方以上有ります。北側には月見櫓が残り、その両脇に渡櫓が海に面し、水手御門から内堀へ海水が引き入れられています。東門脇の駐車場へ車を駐め、旭橋を渡り艮（うしとら）櫓から城域へ入り桜馬場から橋で内堀を超え三の丸へ入ります。ここから北の丸、月見櫓、渡櫓、を経て橋を渡り二の丸へ、更に橋で内堀を渡り天守台のある本丸へと歩きます。天守台に天守閣は有りませんが、きれいに整備されていてやがて天守閣を再建する計画が伺えます。一五八八年、秀吉より讃岐一国を任された生駒親正は黒田官兵衛にその縄張りを依頼しこの高松城を築きます。関ヶ原の戦いでは蜂須賀家同様に親正が出家し豊臣家へ礼を尽くし、息子一正が徳川方へ与し家を存続しています。四代高俊の時にお家騒動が勃発し秋田県へ左遷させられ、代わりに一六四二年水戸頼房の長男頼重が高松藩主として着任。しかし、長男が高松藩へ出て、水戸藩は三男の光圀公が継いでいます。そして次の代には高松藩から水戸藩後継者が、水戸藩から高松藩後継者が出ています。ちょっと不思議な感がありますネ。でも、それは他所の家の事、余計な詮索は止めましょう。以降、松平家が代々高松藩主となり、幕末を迎えています。城近くのホテルへ十七時着。

高松城址

三日目　午前中に雨中で大歩危・かずら橋を訪ね、午後松山城へ向かいました。

十五時に今回で二度目の訪問になる伊豫松山城着（敢て伊豫と入れたのは、備中松山城と区別する為）。ロープウエーで山上へ、山上駅から徒歩十分程で本丸の奥にある筋鉄門（天守閣入口）へ。この城の特徴は天守と小天守・北隅櫓・南隅櫓が渡櫓で四角に繋がっていて、この四角の中の広場へ敵が入ったら周囲の天守や櫓から鉄砲射撃を受け逃げ場がない。どこの城でも侵入者は矢狭間から狙われるが、この城ほど徹底的に狙われる事は無いだろう。天守以下二十一棟が重要文化財に指定されている。一六〇二年関ヶ原の戦いで功が有った加藤嘉明が伊豫の国を拝領し、城建設に着手し翌年新城下に転居し松山と命名した。一六二七年城完成間際に加藤氏は会津へ転封される。変わって蒲生氏郷の孫：忠知が跡を継いだが、跡継ぎがなく断絶。一六三五年桑名から松平定行（久松松平家、於大の方の孫：家康の甥、母は奥平信昌の養女）が入封し幕末を迎えた。

松山城は現存十二天守の一つ。「現存十二天守とは、日本の城の天守のうち、江戸時代またはそれ以前に建設され、現代まで保存されている天守のことである。これ以外に存在する天守には、復元天守・復興天守。模擬天守がある。」四国では、松山城の他に丸亀城・高知城・宇和島城がある。

十六時二〇分に松山城を出て同三十五分に道後の湯築城西口駐車場へ着き、徒歩一分の湯築城資料館へかけ込む。入場時刻は過ぎていたが親切な係員が入館ＯＫ。おまけに懇切丁寧な説明をしてくれました。

湯築城を築いたのは源平の戦いで源氏方として活躍した河野道信の子孫です。一時は村上海賊との関係を強化したり隆盛を誇っていましたが、一五八五年秀吉の四国攻めの時に小早川隆景へ城を引き渡しました。一六〇二年、加藤嘉明によって松山城が築かれると、近く（二㎞）の湯築城は廃城となりました。道後温泉十七時二〇分着

四日目　最初は今治城です。市の中心部で港近くに位置し、周囲に幅六〇mの海水堀を巡らした非常にきれいな五層六階の城です。但し現在の物は昭和五五年に再建された模擬天守で、内部は資料館になっています。一六〇二年藤堂高虎が築城を開始し六年程かけて完成しましたがその直後に高虎は伊勢へ添封、その子高吉が残るも後に転封となり、一六三五年からは松山藩主となった松平定行の弟（久松）松平貞房が今治藩主になり、幕末まで続いた。

十一時半に今治城を出て、瀬戸内海を横断するしまなみ海道（西瀬戸自動車道）で四国寄りの大島へ渡りました。十二時村上水軍博物館着。国指定史跡能島城址は指呼の間です。村上海賊は三家（能島村上・来島村上・因島村上）あり、その活躍は小説「村上海賊の娘」に楽しく書かれていますが、前述の河野氏や秀吉とも連携していました。

十三時に水軍博物館を出て、伯方島・大三島（大山祇神社）・生口島（耕三寺や平山郁夫美術館）を経て因島の水軍城へ十三時四十五分着。途中の大山祇神社・耕三寺・平山郁夫美術館へは前回寄っているのでパスをしました。急峻な石段を上った水軍城は小さくて期待外れでしたが、当時の城はこのような物でしょう。立派な城を期待する方がおかしい。湯築城で伺った話ですが、砦を含めると今治市域だけで一〇〇近く、瀬戸内沿岸では一、〇〇〇近くの城があったそうです。

丸亀城

十四時二〇分因島発。尾道へ入る手間で左方の山上に城が見えた。方角からすると千光寺公園あたりだが、千光寺公園へ行った折に見た事は無かった。一〇〇名城には入ってはいないが、折角だから寄ってゆこう。近づくとやはり千光寺公園の一角でしたが、それは廃屋でした。これは観光目的に作って廃れたものかもしれない。とんだ無駄足をしました。

十五時四〇分福山城着。ここは既に見学している城ですが、その折には一〇〇名城のスタンプを押印しては無い。駐車場から往復二〇分かけて押印して貰って来ました。福山を十六時に発って瀬戸中央自動車道で亀山へ向かいました。丸亀十七時半着。

五日目　藩校サミット当日です。しかし会議の十一時迄に時間があるので、丸亀城へ向かいました。城内の駐車場から、徒歩五分弱で観光案内所のある登り口へ。そこから五分程きつい坂（見返り坂）を登って三の丸へ、そして更に五分弱で二の丸を経て天守入口へ到着しました。この城では年々入城者が増え、昨年一年間の登城者数を本日突破するという事で、市の関係者が来ていました。この天守台は亀山の頂上に位置し、天守閣に登らなくても素晴らしい見晴らしですが、天守閣からの眺望は更に素晴らしい。北には瀬戸内海に浮かぶ塩飽諸島と瀬戸中央自動車道（瀬戸大橋）、眼下に丸亀市内と本日の大会会場が広がる。北西には快晴の下、讃岐富士が良く見えます。北側の市街地からこの城を見ると、堀の水面から三段に亘って石垣が聳えていて、その高さは日本一で六〇mあるそうです。

丸亀城は、高松城の支城として讃岐藩主生駒親正が築き一六〇二年頃に完成した。一六一五年幕府は一国一城令を発布したが、取壊しは免れた。その後前述の通り生駒家は転封され、一六四一年山崎家治が入り丸亀藩が立藩された。山崎家は家治の二代後の藩主が夭逝し跡継ぎがなく改易。一六五八年京極高次（嫁は浅井長政の次女）の孫高和が丸亀藩主となる。一六六〇年丸亀城天守閣完成。この後京極家は丸亀城で幕末を迎え、本日の藩校サミットの実行委員長：京極高澄さんがこのご子孫になります。天守閣は昭和十八年国宝になるも、法改正で昭和二十五年重要文化財に格下げ今日に至る。現存十二天守の一つ。この後、藩校サミットへ出席しました。

六日目　本日訪れる城は高知城だけで、丸亀から直行すれば一〇五㎞、高松自動車道・高知自動車道を使えば一時間半余りで到着できます。しかし折角マイカーで来た四国。徳島から室戸岬を回りたい。先ずは高松

自動車道で徳島へ。その後、雨中を県道二十四号・国道五十五号線で美波町へ。日和佐城（地元豪族：日和佐肥前守が築城。長曾我部の四国統一に服し、後阿波藩主蜂須賀氏に従う。現存は模擬天守で歴史的価値は低く一〇〇名城ではない・）へ一寸立ち寄り（徳島岩吉翁の銅像があった）後、室戸岬へ向かいます。十三時一〇分に室戸岬到着。風雨が強く、ここは流石に台風銀座と感じました。岬から海を睨む中岡慎太郎銅像に手を合わせ、十三時半に高知へ向けて出発。この雨の中を学生風の若者が沢山歩いていました。身なりから大学の部活動でお遍路巡りへ参加していると察しました。一般の巡礼者も時折見かけました。途中で吉良川の町並みを見て先へ急ぎました。

十五時五〇分高知城駐車場着。先程来の雨は止み、大きな石段を登り天守へ向かいました。一六〇一年関ヶ原の戦いで功績有った山内一豊が土佐へ入国、大高坂山に築城開始。山名を河中山、更に高智山と改める。一六一一年ほぼ全城郭が完成。一七二七年火災で全城郭を焼失。その後再普請を開始し一七四九年大方の建物が完成、現在の天守閣はこの時の物。昭和九年国宝に指定され、同二五年重要文化財へ。現存十二天守の一つ。山内氏はここ高知城で明治維新を迎える。山内氏ご子孫：山内豊功さんが藩校サミットへ参加されていました。

七日目　高知から四万十川沿いに走り、沈下橋も見て十二時に宇和島城へ。宇和島城は一五九五年入府した藤堂高虎が一五九六年から築城開始し、一六〇二年大方の完成を見て今治城へ移る。後に富田氏を経て一六一五年伊達政宗の長男秀宗が入府、地名を板島から宇和島へと改称。一六六六年宇和島伊達家二代宗利が三重三層の層塔型で再建し現在に至っている。昭和九年国重要文化財、現存十二天守の一つ。宇和島伊達氏は明治維新をこの地で迎え現在に至る。ご子孫：伊達宗信さんが藩校サミットへ出席されました。十三時二〇分発。

十四時大洲城着。元は大津と呼ばれ十四世紀には宇都宮氏が治め、後に湯築城の河野氏、そして小早川氏になる。一五八七年小早川氏の転封により戸田氏が入る。朝鮮の役で死亡した戸田氏に代わって藤堂高虎が一五九四年に入府し築城開始。一六〇九年に脇坂安治が入府し大洲と名を改める。一六一七年に加藤貞泰が藩主となり以降明治まで続く。この城の特徴は、明治二十一年老朽のため解体されたが、平成十六年に熱心な市民を中心に、古来の工法による組木や和壁の手法を駆使した本格的木造により再建された復元天守であるという事です。旧城下の町並みも整備されていました。大洲十五時発。十五時四〇分内子宿に到着です。内子は昔の町並みが残る町で、特には内子座という歌舞伎座が大正時代のまま残り、今も歌舞伎や文楽等が公演されているそうです。内子町を十七時に出て、途中松山市内へ寄り道し今治のホテルへは十九時着。

八日目　所要の為、名古屋へ直行。

九日目　所要の後、帰宅の途へ。

大洲城（愛媛県）

以上、駆け足で回った四国の城めぐりを、駆け足で綴りました。

日本の一〇〇名城へ登録された城は四国で九城すべて回りました。内、天守が当時のままで残っている城（現存十二天守）は四城で、前述の通りです。

山岳地にある城は山城と云います。今回該当する城は有りませんでした。平野で丘又は小高い山を利用したものは平山城で、今回の城は殆どこの類です。平地に作られたものは平城です。高松城・今治城は平城ですが、海際に作って有り海へも出られますので、海城とも言います。

今回のドライヴは、九日間、運転時間計四十五時間、総走行キロ二、七二三km、使用燃料（軽油）一五一、六ℓ、一八km／ℓでした。本紀行文に長時間御目通し下さり有難うございました。

株式会社 協同バス
TEL：048-554-0808（予約）
埼玉県行田市佐間1-20-36

おかげさまで 創業119周年
八木橋はおかげさまで、今年創業119周年。これからも、地域とともに歩んでまいります。

八木橋　〒360-8502　熊谷市仲町74番地　☎048-523-1111
八木橋　検索

FASHION CREATORS HOUSE
gim® co.,ltd.

株式会社ジム
代表取締役会長
八木原　保

「地域共存」65年
税理士法人 大久保会計
所　長 税理士 大久保　毅
副所長 税理士 大久保　栄吾
支店長 税理士 大久保　秀彦
〒361-0023
埼玉県行田市長野二丁目二五番三三号
埼玉県熊谷市津田一一八八番地

時事川柳

小澤　誠邦

団魂が乗って年金息が切れ

傷心へかまわず向けているマイク

大国の拒否権廃せばノーベル賞

青リボン何時か着けない日が来るか

川柳

小澤　誠邦

茶寿目指し酒煙草断つ荒療治

本当の儲け話は胸に秘め

わらべ唄聞かずに育つモヤシッ子

しがらみを断って孤独の淵に居る

俳句

大野　年司

節分に断ち物決めて希望湧く

襟元の氣持ち新たに衣替え

小山　博

地吹雪や十和田湖までの客二人

鰭酒やどちらが先に死ぬかなど

木嶋　斗川

利根越えて核の風来る奇北の忌

子も孫も居らぬ屋敷や群とんぼ

渡邉　栄一

足音にはたと鳴き止む虫の声

ファッションの案山子に風や乱れ髪

須郷　隆

静けさを蜩に知る夕間暮れ

風に揺れ葉先に憩う秋あかね

小島　敏男

八ッ場（やんば）ダム槌音響く紅葉谷

つつがなく迎える喜寿や秋日和

安部　節子

陰干しの着物と遊ぶ初夏の風

紫陽花を愛でつ味わう一会の茶

清水　孝男

一病を医師に託せし半夏生

あるがままこころのままに去年今年

阿部秀二郎

我を通す狭き器に春愁ふ

琵琶の音や初夏の川風震わせし

倉持成一郎

今朝の夏すべての窓を開け放つ

縁側に母のおもかげ藤の椅子

三島　務

夏来たり草木喜び輝きて

音となり光となりし水の春

鈴木スイ子

復元の城の真ん中竹の春

円墳を下りる松明春の宵

折井　幸子

新涼にメダルラッシュの五輪かな

夏の風裾舞い上げて白き肌

遠藤　初枝

こっそりと春浅き日を病みにけり

海峡をよぎり着陸初夏の旅

長谷川　博

四分咲きに期待楽しむ花見かな

植樹祭昔のままの見沼川

御名刺掲載欄

（順不同）

公益財団法人忍郷友会
会長
松平忠昌
〒214-0038 川崎市多摩区生田六―一五―三六
☎〇四四―九五五―九三三六

特別会員
白河藩阿部家二十二代当主
阿部正靖
〒297-0057 千葉県茂原市中善寺一一〇九―八
電話 〇四七五―二六―五五七九

株式会社 ケイマス
代表取締役
黒渕陽夫
〒361-0074 埼玉県鴻巣市赤城台三六二―二一
TEL〇四八―五六九―二二五一
FAX〇四八―五六九―二二二一

公認会計士
奥貫健一
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三―一―十五―四〇一

天眼寺住職
東瑞芳
〒110-0001 東京都台東区谷中一―二―十四
電話 〇三―三八二一―七七一八

行田セレモニー㈱ヨコカワ
代表取締役会長
横川福治
〒361-0073 埼玉県行田市行田一一―三三
電話 〇四八―五五六―二二五六

弁護士法人 蔭山法律事務所
弁護士 蔭山好信
〒361-0073 埼玉県行田市行田一二番一二号
TEL〇四八―五五四―〇〇〇三
〒360-0041 埼玉県熊谷市宮町二丁目一一八番地
末広不動産宮町ビル二階・三階
TEL〇四八―五九九―一三〇〇

大野建設株式会社
代表取締役
大野年司
〒361-0056 埼玉県行田市持田三丁目四番三号
電話 〇四八（五五三）〇一〇〇

開山慶長十一年
水戸黄門様ご宿泊のお寺
曹洞宗 龍淵山祥雲寺
住職 大西義道
〒300-0744 茨城県稲敷市押砂九三二
電話 〇二九九（七九）〇〇六四
FAX 〇二九九（七九）〇〇六四
携帯 〇九〇（八六四二）四四三一

社会福祉法人財団若葉
若葉保育園
園長 保泉欣嗣
〒361-0073 埼玉県行田市行田十一―十
電話（〇四八）五五六―二七九七

IT の困りごと解決します
ホットネット株式会社
代表取締役
小松和弘
〒361-0016 埼玉県行田市藤原町二―七―七
電話 〇四八―五八〇―三〇七七

ガクヤ株式会社
代表取締役社長
小池俊輔
〒361-0075 行田市向町十四―二十
☎〇四八―五五六―三一二一

小澤企画
各種相談・企画・コンサル
代表 小澤誠邦
〒361-0006 埼玉県行田市大字白川戸七〇二―一
TEL（〇四八）五六四―一一一一
FAX（〇四八）五五二―〇五八二

医療法人 葦の会
石井クリニック
元気いっぱい 笑顔いっぱい
理事長 石井義則
〒361-0037 埼玉県行田市大字下忍一〇八九―一
電話 〇四八―五五五―三五一九

山本食品工業株式会社
山本正幸
〒361-0025 埼玉県行田市埼玉四八六一
電話 〇四八―五五九―二一一一

東旭株式会社
代表取締役社長
小菅克祥
〒三六一―〇〇一六
埼玉県行田市藤原町一丁目六―一
TEL（〇四八）五五六―四五五一（代）
FAX（〇四八）五五六―四五五六

大岡産業株式会社
COKA
代表取締役
大澤誠
〒361-0062
埼玉県行田市谷郷一三二〇―一
TEL〇四八―五五三―〇一二八
FAX〇四八―五五三―二六八一
携帯〇九〇―一六〇二―六一六〇
http://www.ookasangyo.com/

渡辺株式会社
代表取締役会長
渡邉栄一
〒361-0073
行田市行田一―四
電話〇四八―五五六―三一四六
FAX〇四八―五五六―一二八八

行田市　蓮の大使
人形作家
木暮照子
日展会友・工芸美術
日本新工芸家連盟会員
蓮文化研究会理事

松雲山　長光寺
曹洞宗　久賓山　興徳寺
雲峯山　東泉寺
住職
福島伸悦
（連絡先）
電話　埼玉県行田市下中条一六一九―二
〇四八―五五七―〇九九九
FAX〇四八―五五七―二三四七
E-Mail kotokuji@muc.biglobe.ne.jp

山本商事株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社　代理店
代表取締役
山本憲作
e-mail:ken@hoken-yamamoto.co.jp
〒361-0074
埼玉県行田市旭町一〇―四三
TEL（〇四八）五五五―二二一一（代）
FAX（〇四八）五五五―二三三〇八
http://hoken-yamamoto.co.jp
e-mail:info@hoken-yamamoto.co.jp

羽生モータースクール
代表取締役
五十幡和彦
〒348-0036
埼玉県羽生市大字砂山八〇
TEL（〇四八）五六一―三〇〇八
FAX（〇四八）五六一―一五四七
http://www.motorschool.co.jp
E-mail:hanyu@motorschool.co.jp

Emborick
NETWORK SERVICE PROVIDER
SAKITAMA-INTERNET
会長
飯田芳幸
yoshi@sakitama.or.jp
〒361-0001
株式会社エンボリック　http://www.emborick.co.jp
さきたまインターネット　http://www.sakitama.or.jp
埼玉県行田市北河原七〇五番地
GPSアドレス　N：36°11′25″　E：139°25′40″
TEL　〇四八―五五七―三一六六（代表）
FAX　〇四八―五五七―三四二一

株式会社リノン
LINON CORPORATION
代表取締役
新井啓介
ARAI/KEISUKE (Casey)
President
LINON
〒361-0038
本社　埼玉県行田市前谷二五
H.office：25 Maeya Gyoda-shi Saitama-ken Japan
TEL：〇四八―五五五―〇五〇九　FAX：五五五―三二七九
携帯（Cell）〇九〇―三三四―〇四二四
http://www.linon.co.jp　E-mail: arai@linon.co.jp

有限会社　高戸環衛
埼玉県知事登録番号　第5―5105号
貯　第7973号
代表取締役
戸ヶ崎直司
〒361-0062
埼玉県行田市藤原町三―十一―二六
電話〇四八―五五四―一九二〇
FAX〇四八―五五六―二六二七

小山商事株式会社
代表取締役
小山喜一郎
〒361-0025
埼玉県行田市大字埼玉三三五一
TEL（〇四八）五五九―四一二一（代）
FAX（〇四八）五五九―二五五〇

小山商事株式会社
取締役会長
小山博
〒361-0025
埼玉県行田市大字埼玉三三五一
TEL（〇四八）五五九―四一二一（代）
FAX（〇四八）五五九―二五五〇

作業服ならお任せ下さい
株式会社武蔵野ユニフォーム
代表取締役
小松和弘
〒361-0016
電話　埼玉県行田市藤原町二―七―七
〇四八―五五四―七三二五

全国PHP友の会
PHP友の会
特任顧問
加藤力也
〒362-0034
埼玉県上尾市愛宕三―二十―九
TEL/FAXL　〇四八―七七一―一五八五
E-mail：show-katou@jcom.home.ne.jp

渡辺株式会社
代表取締役社長
渡邉久記
〒361-0073
電話　埼玉県行田市行田一―四
〇四八―五五六―三一四六

根岸友山・武香ミュージアム
根岸友憲
〒369-0104
電話　埼玉県熊谷市冑山一五二番地
〇四九三―三九―〇〇〇六

（株）味工房　那のつ
代表取締役　阿部秀二郎
〒361-0023　埼玉県行田市長野一―三三―一〇
電話　〇四八―五五五―一四五〇

創業　文久二年　伝統の味
割烹　魚豊
橋本恭一
TEL〇四八―五五三―三一一三
FAX〇四八―五五三―三一一四

合資会社　青美矢沢商店
代表社員　矢澤大和
〒361-0073　埼玉県行田市行田二十―二十五
TEL〇四八―五五六―三二三一
FAX〇四八―五五六―三七七四

株式会社　倉持商店
紺織製品製造本舗・力王たび代理店
代表取締役　倉持成一郎
〒361-0022　埼玉県行田市桜町一―二十一―四
TEL〇四八―五五六―二九一四
FAX〇四八―五五三―二二八三

《昭和14年創業》
各種自動車・重機・ラヂエーター販売修理
有限会社　小笠原ラヂエーター工業所
代表取締役　中川邦明
〒360-0023　埼玉県熊谷市佐谷田一四三二番地
TEL（〇四八）五二一―三三九五（代）
FAX（〇四八）五二一―三三八四
自宅TEL（〇四八）五五三―〇二七八

株式会社　セティアコーポレーション
代表取締役　岩﨑安裕
〒323-0028　栃木県小山市若木町二―十一―五
TEL〇二八五―二三―八八三三（代）
FAX〇二八五―二一―三五七七

株式会社　田島エージェンジー
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社　代理店
代表取締役　田島博夫
〒361-0073　埼玉県行田市行田五―一〇　スリーハートビル2F
TEL（〇四八）五六四―三二二二
FAX（〇四八）五六四―三二二三
E-mail:millea-hoken@tajimaagencyco.jp

三共印刷株式会社
代表取締役　大谷純一
埼玉県行田市富士見町二―一―三〇
TEL〇四八―五五六―六二〇一

株式会社　イシワタ
一級管工事士の店・給排水衛生設備・建築リフォーム・LPガス
上尾・桶川・北本・加須・羽生・鴻巣・行田・熊谷・深谷指定上下水道工事店
会長　石渡健司
本店　〒365-0003　埼玉県鴻巣市北根一六四三
TEL（〇四八）五六九―〇六一三
FAX（〇四八）五六九―一五六一
行田店　TEL（〇四八）五五八―一五一五
携帯（〇九〇）三二〇〇―九七三二

プライミクス株式会社
PRIMIX
会長　古市實
社長　古市尚
http://www.primix.jp
本社　〒656-2306　兵庫県淡路市夢舞台一丁目三十三
電話（〇七九九）七二―〇〇八〇
FAX（〇七九九）七二―〇〇四〇
埼玉ベース　〒350-1101　埼玉県川越市的場一―十七―十六
東京支社　〒108-0023　東京都港区芝浦三丁目十六―四
名古屋支社　〒160-0008　名古屋市中区栄二丁目九番十六号
大阪支社　〒559-0009　大阪市福島区福島五丁目六番十六号

事務局就業日程変更の報告

（公財）忍郷友会事務局は、従来月曜日・木曜日の就業となっておりましたが、
平成29年1月より、火曜日・金曜日に変更いたします。
就業時間については、従来通り10時～16時までです。

行田市の現勢

平成二十八年十二月一日

1 市役所所在地
〒三六一―八六〇一
埼玉県行田市本丸二番五号
TEL〇四八―五五六―一一一一
FAX〇四八―五五六―一七六六

2 市制施行
昭和二十四年五月三日

3 面　積
六、七四九㎢

4 人　口
八二、九二七人

5 世帯数
三四、一九四世帯

6 財　政
二五八、五億円
（当初予算）

7 市の機構
市　長　工　藤　正　司
副市長　川　島　将　史
教育長　森　　郁　子
委　員　岸　田　昌　久

8 教育委員会
議員定数　二十二名　（無所属十七、公明三、日本共産党二）
議　長　松　本　安　夫
副議長　梁　瀬　里　司

9 議　会

10 学　校
大学　一校
専門学校　一校
高等学校　一校
中学校　八校
小学校　十六校

11 都市宣言
環境衛生都市宣言
人権尊重都市宣言
平和都市宣言
青色申告の都市宣言
交通安全都市宣言
暴走族追放都市宣言
非核平和都市宣言

12 まちづくりの目標
水と緑　個性あふれる文化都市

13 産業経済
製造品出荷額　二、六九六億円
（平成二十六年）
商品販売額　二、一七七億円
（平成十九年）
農業粗生産額　四十八億円
（平成十八年）
商店数　六六四店舗
（平成二十六年）
工業事業所数　二〇五事業所
（四人以上・平成二十六年）

14 公共施設
さきたま史跡の博物館
教育文化センター
郷土博物館　忍城御三階櫓
産業文化会館・はにわの館
総合体育館・市民プール
総合公園野球場
公民館（十七館）・図書館
古代蓮会館・総合福祉会館
商工センター

15 観光地
風土記の丘さきたま古墳公園
忍城址公園
古代蓮の里公園
行田市郷土博物館・利根大堰
水城公園・東照宮

編集後記

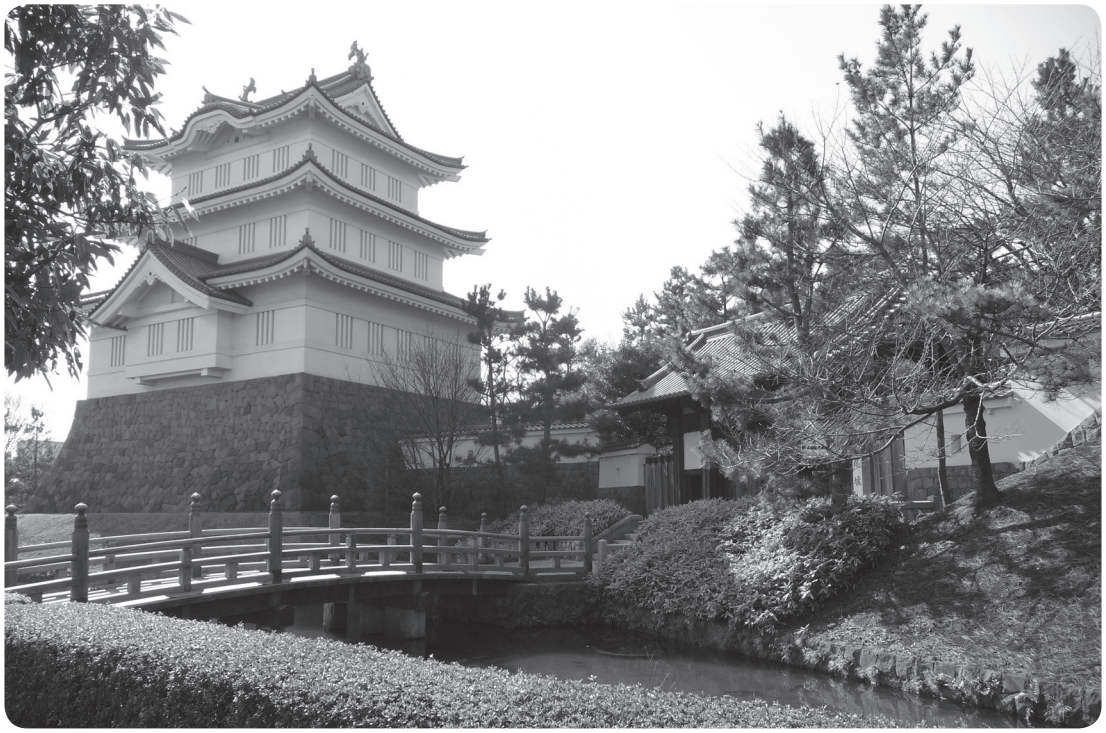
今年もあっという間に終わろうとしています。

今年の大きな出来事はリオオリンピックの日本人選手の活躍、小池百合子都知事とトランプアメリカ大統領の誕生でしょうか？リオオリンピックの日本人選手の活躍は国を挙げての強化策が少しずつ花開いた結果ではないでしょうか。従来のマンネリとした練習だけでなく体幹を鍛えたり、メンタル面を鍛えたりした結果だと思います。ナショナルトレーニングセンターをもっと活用して多くの競技の選手たちが東京で活躍できる事を期待したいと思います。

一方、小池都知事の誕生で築地市場の豊洲移転に伴うさまざまな問題が浮上し移転が先伸びになっています。土壌処理の問題や建物構造の問題など大きな問題となって未だ解決の道が明確になっていません。都民目線の政治運営を貫き既成事実と向き合っていく姿勢は大きく評価されて良いと思います。

又二〇二〇年東京オリンピックの会場問題も見直しを提言した結果、大きな予算低減に繋がっています。開催を最優先した当時の試算はなんだったのかあまりに大きな隔たりがあり不明な点が見られます。片や予想していなかったトランプ氏のアメリカ大統領選挙の勝利は世界中に大きな驚きで報道されました。選挙中は示して来なかった政策を今後作り上げ、どの様な形で大国のアメリカを引っ張って行くのかが注目されます。私たち忍郷友会も公益財団法人となってしっかりとした運営が求められています、会員の方々の更なるご協力をお願いいたします。

黒渕　陽夫



発行者　公益財団法人　忍郷友会　会長　松平忠昌
事務局　埼玉県行田市行田五－一〇
（十万石スリーハートビル３Ｆ）
ＴＥＬ．〇四八－五五六－九〇〇〇
ＦＡＸ．〇四八－五五六－九〇〇七
URL／www.oshi-goyukai.or.jp
e-mail／gyouda@oshi-goyukai.or.jp
印　刷　三共印刷株式会社
〒三六一－〇〇二一
埼玉県行田市富士見町二－一－三〇
ＴＥＬ．〇四八－五五六－六二〇一
ＦＡＸ．〇四八－五五六－六二〇四